



A	
ABR	34-27
access-class コマンド	31-20
ACE	
IP	31-2
QoS	32-10
イーサネット	31-2
定義	31-2
ACL	
ACE	31-2
any キーワード	31-13
host キーワード	31-13
IP	
暗黙的な拒否	31-9, 31-15, 31-17
一致条件	31-7
違反、ログ	31-16
インターフェイスへの適用	31-20
作成	31-7
端末回線、適用	31-19
名前指定	31-15
フラグメントおよび QoS に関する注意事項	32-49
マスクの省略	31-9
未定義	31-21
log キーワード	31-16
MAC 拡張	31-28, 32-62
QoS	32-10, 32-60
QoS クラス マップあたりの個数	32-49
QoS に関するトラフィックの分類	32-60
VLAN マップ	
設定	31-31
設定時の注意事項	31-32
VLAN マップとの組み合わせ	31-38
アクションの制限	31-39
エントリの再順番付け	31-15
拡張 IP	
QoS 分類用の設定	32-60
一致条件	31-7
作成	31-10
コメント	31-19
サポートされている機能	31-22
サポートされない機能	31-7
時間範囲	31-17
照合	31-7, 31-21
定義	31-2, 31-7
適用	
QoS への適用	32-10
インターフェイスへの適用	31-20
時間範囲	31-17
スイッチド パケット上	31-39
ブリッジド パケット上	31-40
マルチキャスト パケット上	31-41
ルーテッド パケット上	31-40
名前指定	31-15
ハードウェアおよびソフトウェア処理	31-22
番号	31-8
標準 IP	
QoS 分類用の設定	32-60
一致条件	31-7
作成	31-9
編集	31-22
ポート	31-2
モニタ	31-42
優先順位	31-3
ルータ	31-2
ルータ ACL を VLAN マップと組み合わせて使用する 方法	31-38
例	31-22, 32-60
ログ メッセージ	31-10
ACL エントリの再順番付け	31-15
ACL の時間範囲	31-17
Address Resolution Protocol	
ARP を参照	

Any Transport over MPLS

AToM を参照

Area Border Router

ABR を参照

ARP

カプセル化 34-10

スタティック キャッシュの設定 34-9

設定 34-9

定義 6-30, 34-9

ARP テーブル

アドレス解決 6-30

管理 6-30

AS パス フィルタ、BGP 34-57

ASBR 34-27

AS、BGP 内 34-50

AToM 37-15

Autonomous System Boundary Router

ASBR を参照

Auxiliary VLAN

音声 VLAN を参照

B

BackboneFast

イネーブル化 19-14

説明 19-6

BGP

CIDR 34-63

clear コマンド 34-66

multi-VRF CE によるルーティング セッション
34-84

show コマンド 34-66

イネーブル化 34-50

コミュニティ フィルタリング 34-59

集約アドレス 34-63

集約ルート、設定 34-63

スーパーネット 34-63

セッションのリセット 34-53

説明 34-47

デフォルト設定 34-48

ネイバの設定 34-61

ネイバ、タイプ 34-50

バージョン 4 34-47

パスの選択 34-54

ピアの設定 34-61

プレフィクス フィルタリング 34-58

マルチパス サポート 34-54

モニタ 34-66

ルーティング セッションの設定 37-10

ルーティング ドメイン連合 34-63

ルート ダンピング化 34-65

ルート マップ 34-56

ルート リフレクタ 34-64

Border Gateway Protocol

BGP を参照

BPDU

errdisable ステート 19-3

RSTP フォーマット 18-13

フィルタリング 19-3

BPDU ガード

イネーブル化 19-11

説明 19-3

BPDU フィルタリング

イネーブル化 19-12

説明 19-3

C

CA トラストポイント

設定 8-46

定義 8-43

CBWFQ

設定

DSCP ベース WRED 32-110

IP precedence ベース WRED 32-114

テール ドロップ 32-107

説明 32-35

CDP

アップデート 25-2

イネーブル化またはディセーブル化

インターフェイス上 25-4

スイッチ上 25-3

概要 25-1

信頼境界 32-56

設定 25-2

説明 25-1

タイマーおよびホールドタイム、設定 25-2

デフォルト設定 25-2

モニタ 25-5

ルーティング デバイスでのディセーブル化
25-3, 25-4

レイヤ 2 プロトコル トネリング 16-13

- CEF 34-90
 - CFM
 - OAM マネージャ 36-10
 - SNMP トラップ 36-5
 - クロスチェック 36-4
 - クロスチェックの設定 36-8
 - コンフィギュレーション サービス 36-7
 - スイッチの設定 36-6
 - 設定時の注意事項 36-5
 - 定義 36-2
 - デフォルト設定 36-5
 - メッセージのタイプ 36-4
 - メンテナンス ドメイン 36-2
 - メンテナンス ポイント 36-4
 - モニタ 36-9
 - CGMP
 - IGMP スヌーピング学習方式 23-9
 - 概要 38-8
 - キャッシュに格納されたグループ エントリのクリア 38-54
 - サーバ サポート機能 38-8
 - サーバ サポート機能のイネーブル化 38-35
 - マルチキャスト グループへの加入 23-3
 - CIDR 34-63
 - CipherSuite 8-44
 - Cisco 7960 IP Phone 15-2
 - Cisco Discovery Protocol
 - CDP を参照
 - Cisco Express Forwarding
 - CEF を参照
 - Cisco Group Management Protocol
 - CGMP を参照
 - Cisco IOS DHCP サーバ
 - DHCP を参照
 - Cisco IOS File System 1-4
 - CiscoWorks2000 1-3, 30-4
 - CIST リージョン ルート
 - MSTP を参照
 - CIST ルート
 - MSTP を参照
 - Classless Interdomain Routing
 - CIDR を参照
 - CLI
 - エラー メッセージ 2-5
 - クラスタの管理 4-4
 - コマンド モード 2-2
 - コマンドの no および default 形式 2-5
 - コマンドの出力のフィルタリング 2-10
 - コマンドの省略形 2-4
 - ヒストリ
 - コマンドの呼び出し方法 2-6
 - 説明 2-6
 - ディセーブル化 2-7
 - バッファ サイズの変更 2-6
 - ヘルプの利用方法 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化またはディセーブル化 2-8
 - 折り返し機能 2-10
 - キーストロークによる編集 2-8
 - CLNS
 - ISO CLNS を参照
 - CNS
 - Configuration Engine
 - configID、deviceID、ホスト名 5-4
 - イベント サービス 5-3
 - コンフィギュレーション サービス 5-3
 - 説明 5-2
 - アップグレード用 5-13
 - 組み込みエージェント
 - イベント エージェントのイネーブル化 5-9
 - コンフィギュレーション エージェントのイネーブル化 5-10
 - 自動設定のイネーブル化 5-8
 - 説明 5-6
 - CNS によるアップグレード 5-13
 - config.text 3-12
 - configure terminal コマンド 10-8
 - config-vlan モード 2-2, 12-8
 - Connectivity Fault Management
 - CFM を参照
 - CoS
 - デフォルト ポート値の設定 32-55
 - プライオリティの信頼 15-7
 - プライオリティの無効化 15-7
 - レイヤ 2 フレーム 32-3
 - crashinfo ファイル 41-22
- D**
- default コマンド 2-5
 - description コマンド 10-19

DHCP

- Cisco IOS サーバ データベース
 - 設定 21-14
 - 説明 21-7
 - デフォルト設定 21-9
- イネーブル化
 - サーバ 21-11
 - リレー エージェント 21-11
- DHCP Option 82
 - 回線 ID サブオプション 21-5
 - 概要 21-4
 - サポート 1-3
 - 設定時の注意事項 21-10
 - デフォルト設定 21-9
 - 転送アドレス、指定 21-11
 - パケットフォーマット、サブオプション
 - 回線 ID 21-5
 - リモート ID 21-5
 - 表示 21-16
 - ヘルパー アドレス 21-11
 - リモート ID サブオプション 21-5
- DHCP スヌーピング
 - Option 82 データ挿入 21-4
 - エッジスイッチから信頼できないパケットの受信 21-3, 21-13
 - 信頼できないインターフェイス 21-3
 - 信頼できないメッセージ 21-3
 - 信頼できるインターフェイス 21-3
 - 設定時の注意事項 21-10
 - デフォルト設定 21-9
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - バインディング テーブルの表示 21-16
 - プライベート VLAN 21-14
 - メッセージ交換プロセス 21-4
- DHCP スヌーピング バインディング データベース
 - イネーブル化 21-15
 - エージェントの統計情報 21-15
 - エントリ 21-7
 - 削除
 - データベース エージェント 21-15
 - バインディング 21-15
 - バインディング ファイル 21-15
 - 設定 21-15
 - 設定時の注意事項 21-10
 - 説明 21-7

- データベースの更新 21-15
- デフォルト設定 21-9
- バインディング 21-7
- バインディング ファイル
 - フォーマット 21-8
 - 保管場所 21-7
- バインディングの追加 21-15
- 表示 21-16
 - ステータスおよび統計情報 21-16
- リセット
 - タイムアウト値 21-15
 - 遅延値 21-15
- DHCP スヌーピング バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP バインディング テーブル
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
- DHCP ベースの自動設定
 - BOOTP クライアント機能 3-4
 - 概要 3-4
 - クライアント要求メッセージの交換 3-4
 - 構成例 3-9
 - 設定
 - DNS 3-7
 - TFTP サーバ 3-6
 - クライアント側 3-4
 - サーバ側 3-5, 21-11
 - リレー デバイス 3-7
 - リース オプション
 - IP アドレス情報 3-5
 - コンフィギュレーション ファイル受信 3-6
- Differentiated Services Code Point
 - DSCP を参照
- Differentiated Services アーキテクチャ、QoS 32-3
- Diffusing Update Algorithm (DUAL) 34-39
- Distance Vector Multicast Routing Protocol
 - DVMRP を参照
- distribute-list コマンド 34-101
- DNS
 - DHCP ベースの自動設定 3-7
 - 概要 6-17
 - 設定 6-17
 - 設定の表示 6-18

- デフォルト設定 6-17
- DoS 攻撃 24-2
- dot1q-tunnel スイッチポート モード 12-20
- DSCP 32-3
- DSCP トランスペアレンシ 32-57
- DTP 12-19
- DUAL 有限状態マシン、EIGRP 34-40
- DVMRP
 - DVMRP ルータへの PIM ドメインの接続 38-42
 - mrinfo 要求、応答 38-45
 - 概要 38-8
 - 自動サマライズ
 - サマリー アドレスの設定 38-50
 - ディセーブル化 38-52
 - 相互運用
 - IOS ソフトウェア 38-8
 - シスコ製デバイス 38-40
 - 送信元配信ツリー、構築 38-8
 - トンネル
 - 設定 38-42
 - ネイバ情報の表示 38-45
 - ネイバ
 - 情報の表示 38-45
 - デフォルト ルートのアドバタイズ 38-44
 - 非プルーニング ネイバとのピアリングの禁止 38-48
 - 非プルーニング ネイバの拒否 38-47
 - プローブ メッセージによる検出 38-40
 - ユニキャスト ルーティングのイネーブル化 38-46
 - ルーティング テーブル 38-8
 - ルート
 - MBONE に入る個数の制限 38-49
 - Syslog メッセージのスレッシユホールドの変更 38-49
 - 削除 38-54
 - すべてをアドバタイズ 38-52
 - ネイバへのデフォルト ルートのアドバタイズ 38-44
 - 表示 38-55
 - メトリック オフセットの追加 38-52
 - 優先度 38-52
 - ユニキャスト ルート アドバタイズの制限 38-40
 - レポート メッセージで取得された DVMRP ルートのキャッシング 38-46
- dynamic auto トランキンング モード 12-20
- dynamic desirable トランキンング モード 12-20
- Dynamic Host Configuration Protocol
 - DHCP ベースの自動設定を参照
- Dynamic Trunking Protocol
 - DTP を参照
- E
 - EBGP 34-46, 37-7
 - EIGRP
 - IGRP 34-41
 - インターフェイス パラメータ、設定 34-43
 - コンポーネント 34-39
 - 設定 34-42
 - 定義 34-39
 - デフォルト設定 34-40
 - 認証 34-44
 - モニタ 34-45
 - E-LMI
 - OAM マネージャ 36-10
 - イネーブル化 36-14
 - 情報 36-10
 - 定義 36-10
 - デフォルト設定 36-11
 - モニタ 36-15
 - Enhanced IGRP
 - EIGRP を参照
 - Enhanced-Services インターフェイス
 - ES インターフェイスを参照
 - EoMPLS
 - 802.1Q トンネリング 37-16
 - QoS 37-17, 37-21
 - 制限事項 37-17
 - 設定 37-18
 - デフォルト設定 37-18
 - パケット フロー 37-20
 - モニタ 37-26
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 37-16
 - ES インターフェイス 10-3, 10-8, 37-1
 - EtherChannel
 - 802.3ad、説明 33-6
 - LACP
 - システム プライオリティ 33-19
 - ステータスの表示 33-21
 - 説明 33-6
 - ポート プライオリティ 33-20

- 他の機能との相互作用 33-6
- ホットスタンバイ ポート 33-18
- モード 33-6
- PAgP
 - Catalyst 1900 との互換性 33-17
 - 学習方式およびプライオリティの設定 33-17
 - サイレント モード 33-5
 - 集約ポート ラーナー 33-17
 - ステータスの表示 33-21
 - 説明 33-4
 - 他の機能との相互作用 33-5
 - モード 33-5
- インターフェイスの個数 33-3
- 自動作成 33-4, 33-6
- ステータスの表示 33-21
- 設定
 - レイヤ 3 物理インターフェイス 33-14
 - レイヤ 3 ポートチャンネル論理インターフェイス 33-13
- 設定時の注意事項 33-10
- 説明 33-2
- 相互作用
 - STP 33-10
 - VLAN 33-10
- チャンネル グループ
 - 番号 33-3
 - 物理インターフェイスと論理インターフェイスのバインド 33-3
- デフォルト設定 33-9
- 転送方式 33-7, 33-16
- ポート グループ 10-6
- ポートチャンネル インターフェイス
 - 説明 33-3
 - 番号 33-3
- レイヤ 2 インターフェイスの設定 33-11
- レイヤ 3 インターフェイス 34-4
- ロードバランシング 33-7, 33-16
- 論理インターフェイス、説明 33-3
- EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - ディセーブル化 19-15
- Ethernet Link Management Interface
 - E-LMI を参照
- Ethernet over MPLS
 - EoMPLS を参照
- Ethernet Virtual Connection
 - EVC を参照
- EVC
 - CFM ドメイン内 36-10
 - 設定 36-12
- EXP ビット、MPLS プライオリティの設定 37-23
- Extensible Authentication Protocol over LAN 9-2
- External BGP
 - EBGP を参照
- F
 - FIB 34-90
 - Flex Link
 - 設定 20-6
 - 設定時の注意事項 20-5
 - 説明 20-2
 - デフォルト設定 20-5
 - モニタ 20-10
 - Forwarding Information Base
 - FIB を参照
 - FTP
 - MIB ファイルへのアクセス A-4
 - イメージファイル
 - アップロード B-29
 - サーバの準備 B-26
 - ダウンロード B-27
 - 古いイメージの削除 B-29
 - コンフィギュレーション ファイル
 - アップロード B-15
 - 概要 B-13
 - サーバの準備 B-14
 - ダウンロード B-14
- G
 - get-bulk-request 動作 30-3
 - get-next-request 動作 30-3, 30-5
 - get-request 動作 30-3, 30-4, 30-5
 - get-response 動作 30-3
- H
 - hello タイム
 - MSTP 18-23

- STP 17-21
 - Hot Standby Router Protocol
 - HSRP を参照
 - HP OpenView 1-3
 - HSRP
 - イネーブル化 35-5
 - 概要 35-2
 - 設定 35-4
 - タイマー 35-8
 - 注意事項 35-4
 - 追跡 35-6
 - 定義 35-1
 - デフォルト設定 35-4
 - 認証ストリング 35-8
 - プライオリティ 35-6
 - モニタ 35-10
 - HTTP over SSL
 - HTTPS を参照
 - HTTP セキュア サーバ 8-43
 - HTTPS 8-43
 - 自己署名証明書 8-44
 - 設定 8-46
- I
- IBGP 34-46, 37-7
 - ICMP
 - time exceeded メッセージ 41-15
 - traceroute 41-15
 - 到達不能メッセージ 31-20
 - 到達不能、ACL 31-22
 - リダイレクト メッセージ 34-12
 - ICMP ping
 - 概要 41-11
 - 実行 41-11
 - ICMP Router Discovery Protocol
 - IRDP を参照
 - IDS 装置
 - 入力 RSPAN 27-23
 - 入力 SPAN 27-15
 - IEEE 802.1ag 36-2
 - IEEE 802.1D
 - STP を参照
 - IEEE 802.1p 15-2
 - IEEE 802.1Q
 - カプセル化 12-19
 - 設定に関する注意事項 12-21
 - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 12-27
 - トランク ポート 10-4
 - トンネリング
 - 説明 16-2
 - 他の機能との互換性 16-7
 - デフォルト 16-5
 - トンネル ポートと他の機能を併用する場合 16-7
 - IEEE 802.1s
 - MSTP を参照
 - IEEE 802.1w
 - RSTP を参照
 - IEEE 802.1x
 - ポートベースの認証も参照
 - IEEE 802.1x アカウンティング 9-24
 - IEEE 802.1x で許可されたポート 9-4
 - IEEE 802.1x で許可されていないポート 9-4
 - IEEE 802.3ad
 - EtherChannel を参照
 - IEEE 802.3x フロー制御 10-16
 - IGMP
 - Join メッセージ 23-3
 - 概要 38-3
 - キャッシュ エントリの削除 38-54
 - クエリー 23-4
 - グループへのアクセスの制御 38-30
 - 高速スイッチング 38-34
 - スイッチの設定
 - グループのメンバー 38-29
 - スタティックに接続されたメンバー 38-34
 - 即時脱退処理、イネーブル化 23-11
 - デフォルト設定 38-29
 - 統計情報の表示 38-55
 - バージョン 1
 - 説明 38-3
 - バージョン 2 への変更 38-31
 - バージョン 2
 - クエリー タイムアウト 38-33
 - グループのプルーニング 38-33
 - 最大クエリー応答時間 38-33
 - 説明 38-4
 - バージョン 1 への変更 38-31
 - ホストクエリー インターバル、変更 38-32
 - マルチキャスト グループからの脱退 23-5
 - マルチキャスト グループへの加入 23-3

- マルチキャストの到達可能性 38-29
 - レポートの抑制
 - 説明 23-6
 - ディセーブル化 23-13
- IGMP グループ
 - 最大数の設定 23-27
 - フィルタリングの設定 23-28
- IGMP スヌーピング
 - VLAN コンフィギュレーション 23-8
 - アドレスのエイリアス 23-2
 - イネーブル化またはディセーブル化 23-7
 - クエリア
 - 設定 23-11
 - 設定時の注意事項 23-11
 - グローバル コンフィギュレーション 23-7
 - 設定 23-7
 - 即時脱退 23-6
 - 定義 23-2
 - デフォルト設定 23-7
 - 方式 23-8
 - モニタ 23-14
- IGMP スロットリング
 - アクションの表示 23-29
 - 設定 23-28
 - 説明 23-24
 - デフォルト設定 23-25
- IGMP フィルタリング
 - 設定 23-25
 - 説明 23-24
 - デフォルト設定 23-25
 - モニタ 23-29
- IGMP プロファイル
 - コンフィギュレーション モード 23-25
 - 設定 23-25
 - 適用 23-26
- IGP 34-27
- IGRP
 - スプリット ホライズン 34-25
- interface range macro コマンド 10-11
- interface コマンド 10-8
- Interior Gateway Protocol
 - IGP を参照
- Interior Gateway Routing Protocol
 - IGRP を参照
- Intermediate-System-to-Intermediate-System プロトコル
 - IS-IS を参照
- Internal BGP
 - IBGP を参照
- Internet Control Message Protocol
 - ICMP を参照
- Internet Group Management Protocol
 - IGMP を参照
- ip access group コマンド 31-21
- IP ACL
 - QoS 分類 32-10
 - 暗黙的な拒否 31-9, 31-15, 31-17
 - 拡張、作成 31-10
 - 仮想端末回線、設定 31-19
 - 名前指定 31-15
 - 標準、作成 31-9
 - マスクの省略 31-9
 - 未定義 31-21
 - ログ メッセージ 31-16
- ip igmp profile コマンド 23-25
- IP Phone
 - QoS 15-2
 - QoS によるポートセキュリティの確保 32-56
 - QoS の信頼境界 32-56
 - 自動的な分類とキューイング 32-37
 - 設定 15-5
- IP precedence 32-3
- IP traceroute
 - 概要 41-15
 - 実行 41-15
- IP アドレス
 - IP 情報も参照
 - IP ルーティング用 34-5
 - MAC アドレスとの相互作用 34-8
 - 解決 6-30
 - クラス 34-6
 - 候補またはメンバー 4-3
 - コマンド スイッチ 4-2
 - デフォルト設定 34-5
 - モニタ 34-18
- IP 指定ブロードキャスト 34-14
- IP 情報
 - デフォルト設定 3-3
 - 割り当て
 - DHCP ベースの自動設定の使用 3-4
 - 手動 3-10
- IP ソース ガード
 - DHCP スヌーピング 21-17

- EtherChannel 21-18
- IEEE 802.1x 21-18
- TCAM エントリ 21-18
- VRF 21-18
- イネーブル化 21-19
- スタティック バインディング
 - 削除 21-19
 - 追加 21-19
- 設定時の注意事項 21-18
- 説明 21-17
- 送信元 IP アドレス フィルタリング 21-17
- 送信元 IP および MAC アドレス フィルタリング 21-17
- ディセーブル化 21-19
- デフォルト設定 21-18
- トランク インターフェイス 21-18
- バインディング テーブル 21-17
- バインディング設定
 - 自動 21-17
 - 手動 21-17
- 表示
 - 設定 21-20
 - バインディング 21-20
 - フィルタリング
 - 送信元 IP アドレス 21-17
 - 送信元 IP および MAC アドレス 21-17
 - プライベート VLAN 21-18
 - ポート セキュリティ 21-18
 - ルーテッドポート 21-18
- IP ブロードキャスト アドレス 34-16
- IP プロトコル、ACL 31-12
- IP マルチキャスト ルーティング
 - CGMP も参照
 - DVMRP も参照
 - IGMP スヌーピング 23-2
 - IGMP も参照
 - MBONE
 - sdr キャッシュ エントリの削除 38-54
 - sdr キャッシュ エントリの存在期間の制限 38-37
 - sdr キャッシュのモニタ 38-55
 - sdr リスナー サポート機能のイネーブル化 38-36
 - Session Directory (sdr) ツール、説明 38-36
 - アドバタイズされる DVMRP ルートの制限 38-49
 - 会議セッション アナウンスメント用の SAP パケット 38-36
 - 説明 38-36
 - PIM も参照
 - PIMv1 と PIMv2 のインターオペラビリティ 38-10
 - Reverse Path Forwarding (RPF) チェック 38-7
 - RP
 - PIMv2 BSR の設定 38-19
 - 自動 RP および BSR の使用法 38-23
 - 自動 RP の設定 38-14
 - 手動割り当て 38-13
 - マッピング情報のモニタ 38-24
 - アドレス
 - すべてのホスト 38-3
 - すべてのマルチキャスト ルータ 38-3
 - ホスト グループ アドレス範囲 38-3
 - イネーブル化
 - PIM のモード 38-12
 - マルチキャスト 転送 38-11
 - 管理の有効範囲付き境界、説明 38-37
 - グループ /RP マッピング
 - BSR 38-6
 - 自動 RP 38-5
 - シスコの実装 38-2
 - 自動 RP
 - BSR との使用法 38-23
 - 概要 38-5
 - 既存の SM クラウドへの追加 38-15
 - キャッシュのクリア 38-54
 - 候補 RP スプーフィングの禁止 38-17
 - 新規インターネットワークでの設定 38-15
 - 設定時の注意事項 38-10
 - 着信 RP アナウンスメント メッセージのフィルタリング 38-17
 - 問題のある RP への Join メッセージの送信禁止 38-17
 - 利点 38-14
- 設定
 - IP マルチキャスト境界 38-37
 - 基本的なマルチキャスト ルーティング 38-11
 - デフォルト設定 38-9
 - 統計情報、システムおよびネットワークの表示 38-54
 - ブートストラップ ルータ
 - IP マルチキャスト境界の定義 38-20

- PIM ドメイン境界の定義 38-19
 - 概要 38-6
 - 候補 BSR の設定 38-21
 - 候補 RP の設定 38-22
 - 自動 RP による使用法 38-23
 - 設定時の注意事項 38-10
- プロトコルの動作 38-2
- マルチキャスト転送、説明 38-7
- モニタ
 - パケット速度および損失情報 38-55
 - パスのトレース 38-55
 - ピアリング デバイス 38-55
- ルーティング テーブル
 - 削除 38-54
 - 表示 38-55
- IP ユニキャスト ルーティング
 - ARP 34-9
 - BGP も参照
 - EIGRP も参照
 - EtherChannel レイヤ 3 インターフェイス 34-4
 - IGP 34-27
 - IGRP も参照
 - IP アドレス
 - クラス 34-6
 - 設定 34-5
 - IRDP 34-12
 - IS-IS も参照
 - MAC アドレスおよび IP アドレス 34-8
 - OSPF も参照
 - RIP も参照
 - SVI を使用 34-4
 - UDP 34-16
 - VLAN 間 34-2
 - アドレス解決 34-8
 - イネーブル化 34-20
 - 管理距離 34-92, 34-102
 - 逆アドレス解決 34-8
 - クラスレス ルーティング 34-7
 - 再配信 34-94
 - サブネット ゼロ 34-6
 - サブネット マスク 34-6
 - 指定ブロードキャスト 34-14
 - スーパーネット 34-7
 - スタティック ルーティング 34-2
 - スタティック ルートの設定 34-92
 - 設定手順 34-4
- ダイナミック ルーティング プロトコル 34-2
 - デフォルト
 - アドレス指定の設定 34-5
 - ゲートウェイ 34-12
 - ネットワーク 34-93
 - ルーティング 34-2
 - ルート 34-93
 - 認証鍵 34-103
 - パッシブ インターフェイス 34-101
 - ブロードキャスト
 - アドレス 34-16
 - ストーム 34-14
 - パケット 34-14
 - フラッディング 34-17
 - プロキシ ARP 34-9
 - プロトコル
 - ダイナミック 34-2
 - ディスタンス ベクタ 34-3
 - リンクステート 34-3
 - ルーテッド ポート 34-4
 - レイヤ 3 インターフェイス 34-4
 - レイヤ 3 インターフェイスへの IP アドレスの割り当て 34-6
- IP ルーティング
 - イネーブル化 34-20
 - インターフェイスの接続 10-7
- IP ルート、モニタ 34-104
- IRDP
 - 設定 34-12
 - 定義 34-12
- IS-IS
 - show コマンド 34-77
 - アドレス 34-68
 - エリア ルーティング 34-68
 - システム ルーティング 34-68
 - デフォルト設定 34-69
 - モニタ 34-77
- ISL および トランク ポート 10-4
- ISO CLNS
 - clear コマンド 34-77
 - NET 34-68
 - NSAP 34-68
 - OSI 標準 34-68
 - ダイナミック ルーティング プロトコル 34-68
 - モニタ 34-77

ISO IGRP

- エリアルーティング 34-68
- システムルーティング 34-68

J

- Join メッセージ、IGMP 23-3

K

Kerberos

- KDC 8-33
- TGT 8-35
- 暗号化ソフトウェア イメージ 8-33
- サーバ 8-35
- 証明書 8-33
- 信頼できるサードパーティとしてのスイッチ 8-33
- 設定 8-36
- 設定例 8-33
- 説明 8-33
- チケット 8-33
- 動作 8-35
- 認証
 - KDC 8-35
 - 境界スイッチ 8-35
 - ネットワーク サービス 8-36
- 用語 8-34
- レルム 8-34

L

- l2protocol-tunnel コマンド 16-18
- Label Distribution Protocol
 - LDP を参照
- LACP
 - EtherChannel を参照
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-15
- LDAP 5-3
- LDP 37-8
- Lightweight Directory Access Protocol
 - LDAP を参照
- Link Aggregation Control Protocol
 - EtherChannel を参照
 - LACP を参照
- Link State Advertisement (LSA) 34-34

LLQ

- イネーブル化 32-118
- 出力プライオリティ キューとの相互作用 32-119
- 説明 32-36
- Long-Reach Ethernet (LRE) テクノロジー 1-14
- Low-Latency Queueing
 - LLQ を参照
- LSR 37-3

M

MAC Address-Table Move Update

- 設定 20-8
- 設定時の注意事項 20-5
- 説明 20-3
- デフォルト設定 20-5
- モニタ 20-10

MAC アドレス

- ACL 内 31-28
- IP アドレスとの相互作用 34-8
- IP ソース ガード情報の表示 21-20
- VLAN での学習のディセーブル 6-28
- VLAN との対応付け 6-22
- アドレス テーブルの作成 6-21
- エージング タイム 6-23
- 解決 6-30
- スタティック
 - 許可 6-27, 6-28
 - 削除 6-26
 - 追加 6-26
 - 特性 6-25
 - 廃棄 6-27

ダイナミック

- 削除 6-23
- ラーニング 6-21
- デフォルト設定 6-22
- 表示 6-29

MAC アドレス学習、VLAN でのディセーブル 6-28

MAC アドレスと VLAN のマッピング 12-32

MAC 拡張 ACL

- QoS の設定 32-62
- QoS 分類 32-8
- 作成 31-28
- 定義 31-28
- レイヤ 2 インターフェイスへの適用 31-29

- maximum-paths コマンド 34-54, 34-91
- MEP
 - STP 36-4
 - 定義 36-4
- MIB
 - FTP によるファイルへのアクセス A-4
 - SNMP との相互作用 30-4
 - 概要 30-2
 - サポート A-2
 - ファイルの位置 A-4
- MIP
 - STP 36-4
 - 定義 36-4
- MP-BGP 37-14
- MPLS
 - EXP フィールド 37-21
 - QoS
 - EXP ビット 37-22
 - 使用 37-21
 - 設定 37-22
 - デフォルト設定 37-23
 - VPN
 - パケットフロー 37-14
 - ラベル 37-4
 - 設定 37-9
 - デフォルト設定 37-8
 - モニタ 37-26
 - ラベル 37-3
- MSDP
 - DM 領域
 - SA メッセージの送信 39-16
 - 発信元アドレスの指定 39-17
 - MSDP 接続および統計情報のクリア 39-18
 - SA メッセージ
 - TTL によるデータの制限 39-13
 - アダプタイズされる送信元の制限 39-9
 - キャッシュ エントリのクリア 39-18
 - キャッシング 39-6
 - 着信のフィルタリング 39-13
 - 定義 39-2
 - ピアからのフィルタリング 39-10
 - ピアへのフィルタリング 39-12
 - モニタ 39-18
 - 概要 39-2
 - 参加遅延、定義 39-6
- 送信元情報の制御
 - スイッチから発信 39-8
 - スイッチで受信 39-13
 - スイッチで転送 39-11
- デフォルト設定 39-4
- 発信元アドレス、変更 39-17
- ピア
 - シャットダウン 39-15
 - 送信元情報の要求 39-8
 - デフォルトの設定 39-4
 - ピアリング関係、概要 39-2
 - モニタ 39-18
 - ピア RPF フラッドイング 39-2
- フィルタリング
 - 着信 SA メッセージ 39-13
 - ピアからの SA 要求メッセージ 39-10
 - ピアへの SA メッセージ 39-12
- メッシュグループ
 - 設定 39-15
 - 定義 39-15
- 利点 39-3
- MSTP
 - 802.1D とのインターオペラビリティ
 - 移行プロセスの再起動 18-26
 - 説明 18-9
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-11
 - 説明 19-3
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
 - CIST の説明 18-3
 - CIST リージョンルート
 - CIST ルート 18-5
 - CST
 - 定義 18-3
 - リージョン間の動作 18-4
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - IEEE 802.1s
 - 実装 18-7
 - ポートの役割名の変更 18-7
 - IST
 - 定義 18-3
 - マスター 18-3

- リージョン内の動作 18-3
- MST リージョン
 - CIST 18-3
 - IST 18-3
 - サポートされるスパンニングツリー インスタンス 18-2
 - 設定 18-17
 - 説明 18-2
 - ホップ カウント メカニズム 18-6
- PortFast
 - イネーブル化 19-10
 - 説明 19-2
- PortFast イネーブル ポートのシャットダウン 19-3
- VLAN と MST インスタンスのマッピング 18-17
- インターフェイス ステート、ブロッキングから
フォワーディング 19-2
- オプション機能のデフォルト設定 19-10
- 概要 18-2
- 拡張システム ID
 - セカンダリ ルート スイッチに対する影響 18-20
 - 予期しない動作 18-19
 - ルート スイッチへの影響 18-18
- 境界ポート
 - 設定時の注意事項 18-16
 - 説明 18-6
- サポートされるインスタンス 17-10
- スタック変更、効果 18-8
- ステータスの表示 18-27
- ステータス、表示 18-27
- 設定
 - hello タイム 18-23
 - MST リージョン 18-17
 - 高速コンバージェンス用リンク タイプ 18-25
 - 最大エージング タイム 18-24
 - 最大ホップ カウント 18-25
 - スイッチ プライオリティ 18-22
 - セカンダリ ルート スイッチ 18-20
 - 転送遅延時間 18-24
 - パス コスト 18-21
 - ポート プライオリティ 18-20
 - 隣接タイプ 18-26
 - ルート スイッチ 18-18
- 設定時の注意事項 18-16, 19-10
- デフォルト設定 18-15
- モード間のインターオペラビリティと下位互換性 17-10
- モードのイネーブル化 18-17
- ルート ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
- ルート スイッチ
 - 拡張システム ID の影響 18-18
 - 設定 18-18
 - 予期しない動作 18-19
- ルート スイッチとしての選択の防止 19-8
- ループ ガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-9
- Multicast Source Discovery Protocol
 - MSDP を参照
- Multicast VLAN Registration
 - MVR を参照
- Multiple Spanning-Tree Protocol
 - MSTP を参照
- multiple VPN Routing/Forwarding、カスタマー エッジ デバイス
 - multi-VRF CE を参照
- multi-VRF CE
 - サポート 1-9
 - 設定 34-81
 - 設定時の注意事項 34-82
 - 設定例 34-84
 - 定義 34-79
 - デフォルト設定 34-81
 - ネットワーク構成要素 34-81
 - パケット転送プロセス 34-81
 - 表示 34-89
 - モニタ 34-89
- MVR
 - アドレスのエイリアス 23-19
 - インターフェイスの設定 23-21
 - グローバルパラメータの設定 23-20
 - 説明 23-16
 - デフォルト設定 23-19
 - モード 23-20
 - モニタ 23-23

- N**
- NameSpace Mapper
 - NSM を参照
 - Network Time Protocol
 - NTP を参照
 - no switchport コマンド 10-5
 - no コマンド 2-5
 - Not-So-Stubby Area
 - NSSA を参照
 - NSAP、ISO IGRP アドレスとして 34-68
 - NSF 認識
 - BGP 34-50
 - EIGRP 34-41
 - IS-IS 34-70
 - OSPF 34-29
 - NSM 5-3
 - NSSA、OSPF 34-34
 - NTP
 - ACL の時間範囲 31-17
 - アクセスの制限
 - アクセス グループの作成 6-10
 - 特定のインターフェイスでの NTP サービスの
ディセーブル化 6-11
 - アソシエーション
 - サーバ 6-7
 - 定義 6-3
 - 認証 6-5
 - ピア 6-7
 - ブロードキャスト メッセージのイネーブル化
6-8
 - 概要 6-3
 - 時刻
 - サービス 6-3
 - 同期化 6-3
 - ストラタム 6-3
 - 設定の表示 6-12
 - 送信元 IP アドレス、設定 6-11
 - デバイスの同期化 6-7
 - デフォルト設定 6-5
 - NTP アクセス グループのキーワード、スキャン順序
6-10
- O**
- OAM マネージャ
 - CFM で 36-10
 - E-LMI 36-10
 - 設定 36-11
 - 設定時の注意事項 36-11
 - 目的 36-10
 - モニタ 36-15
 - Open Shortest Path First
 - OSPF を参照
 - OSPF
 - LSA グループ同期 34-36
 - インターフェイス パラメータ、設定 34-30
 - エリア パラメータ、設定 34-34
 - 仮想リンク 34-35
 - 設定 34-29
 - 説明 34-27
 - デフォルト設定
 - 設定 34-28
 - メトリック 34-35
 - ルート 34-35
 - ネットワーク タイプ、設定 34-33
 - モニタ 34-37
 - ルータ ID 34-37
 - ルート サマライズ 34-35
- P**
- PAgP
 - EtherChannel を参照
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-15
 - PBR
 - PBR の高速スイッチング 34-100
 - PBR を参照
 - イネーブル化 34-99
 - 定義 34-97
 - ローカル PBR 34-100
 - PE/CE ルーティング、設定 34-84
 - PIM
 - dense (密) モード
 - RPF チェック 38-7
 - 概要 38-5
 - ランデブー ポイント (RP)、説明 38-5
 - sparse (疎) モード
 - Join メッセージおよび共有ツリー 38-5
 - RPF チェック 38-8
 - 概要 38-5
 - プルーニング メッセージ 38-5
 - SPT、使用の延期 38-26

- 概要 38-4
- 共有ツリーおよび送信元ツリー、概要 38-25
- デフォルト設定 38-9
- ネイバの表示 38-55
- バージョン
 - v2 の改善点 38-4
 - インターオペラビリティに関するトラブル
シューティング 38-24
 - 相互運用 38-10
- モードのイネーブル化 38-12
- ルータクエリーメッセージインターバル、変更
38-28
- PIM/DVMRP、スヌーピング方式 23-8
- ping
 - 概要 41-11
 - 実行 41-11
 - 文字出力の説明 41-12
- Port Aggregation Protocol
 - EtherChannel を参照
- PortFast
 - イネーブル化 19-10
 - 説明 19-2
 - モード、スパニングツリー 12-33
- Protocol-Independent Multicast Protocol
 - PIM を参照
- PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ
17-10
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - 説明 17-9
- Q
- QoS
 - 802.1Q トンネリング 32-96
 - ACL
 - IP 拡張 32-60
 - IP 標準 32-60
 - MAC 32-62
 - DSCP トランスペアレンシ 32-57
 - DSCP マップ 32-76
 - IEEE 802.1Q トンネリング 32-54, 32-96
 - IP Phone
 - 検出および信頼設定 32-37, 32-56
 - 自動的な分類とキューイング 32-37
 - MPLS ネットワーク 37-21
 - QoS ラベル、定義 32-6
 - 暗黙的な拒否 32-11
 - 階層型 QoS
 - 2 つのレートを使用するトラフィック ポリサー
32-30, 32-100
 - CBWFQ 32-35
 - CBWFQ および DSCP ベース WRED 32-110
 - CBWFQ および IP precedence ベース WRED
32-114
 - CBWFQ およびテール ドロップ 32-107
 - LLQ 32-36, 32-118
 - QoS、階層型キューも参照
 - QoS、階層レベルも参照
 - WRED 32-35
 - 一致条件 32-29
 - クラス マップに基づく分類 32-29, 32-98
 - 子ポリシー 32-27
 - シェーピング 32-36, 32-121
 - 設定時の注意事項 32-95
 - テール ドロップ 32-35
 - デフォルト クラス 32-30
 - デフォルト設定 32-95
 - トラフィック ポリシー、説明 32-29
 - 表示 32-123
 - 輻輳回避 32-34
 - 輻輳管理 32-34
 - ポリシング、説明 32-30
 - マーキング 32-30, 32-104
 - 階層型キュー
 - CBWFQ 32-35
 - LLQ 32-36
 - QoS、階層型 QoS も参照
 - WRED 32-35
 - キュー条件 32-29
 - サポートされているキュー数 32-34
 - スケジューリング 32-7
 - 説明 32-7, 32-34
 - 帯域幅制限ストリーム 32-26
 - テール ドロップ 32-35
 - デフォルト キュー 32-34
 - 輻輳制御 32-34
 - 平均キュー サイズの計算 32-35
 - 階層レベル
 - VLAN レベル、説明 32-27
 - クラス レベル、説明 32-26
 - サポートされている VLAN レベル クラス数
32-27

- サポートされているクラスレベル クラス数
32-26
- 物理インターフェイス レベル、説明 32-28
- 概要 32-3
- 書き換え 32-51
- 基本モデル 32-5
- キュー
 - QoS、階層型キューも参照
 - QoS、出力キューセットも参照
 - QoS、入力キューも参照
 - SRR、説明 32-19
 - WTD、説明 32-19
 - 位置 32-17
 - 出力キューセットの特性の設定 32-86
 - 入力キューの特性の設定 32-82
- クラス マップ
 - 階層型の設定 32-98
 - 入力の設定 32-63
 - 表示 32-94, 32-123
- グローバルなイネーブル化 32-52
- 自動 QoS
 - VoIP 用にイネーブル化 32-42
 - 実行コンフィギュレーションに対する影響
32-41
 - 初期設定、表示 32-46
 - 生成されたコマンドの表示 32-43
 - 生成されるコマンドのリスト 32-39
 - 設定時の注意事項 32-41
 - 設定とデフォルトの表示 32-46
 - 設定例 32-44
 - 説明 32-37
 - ディセーブル化 32-43
 - デフォルト出力キューセット 32-38
 - デフォルト入力キュー 32-37
 - トラフィックの分類 32-37
- 集約ポリサー、作成 32-75
- 出力インターフェイスの帯域幅の制限 32-93
- 出力キューセット
 - DSCP または CoS 値のマッピング 32-89
 - SRR 共有ウェイトの設定 32-91
 - SRR シェーピング ウェイトの設定 32-90
 - WTD スレッシュホールドの設定 32-87
 - WTD、説明 32-25
 - スケジューリング、説明 32-6
 - スレッシュホールド マップの表示 32-90
 - 説明 32-6
 - 特性 32-86
- バッファ スペースの割り当て 32-87
- バッファ割り当て方式、説明 32-24
- プライオリティ キューイング 32-50, 32-92
- フローチャート 32-23
- 信頼境界、設定 32-56
- 信頼状態
 - 信頼されたデバイス 32-56
 - 説明 32-8
 - ドメイン内 32-52
 - 別のドメインとの境界 32-58
- 設定
 - DSCP トランスペアレンシ 32-57
 - ポリシー マップ、SVI での階層型 32-68
 - ポリシー マップ、デュアルレベル 32-68
- 設定時の注意事項
 - 階層型 QoS 32-95
 - 自動 QoS 32-41
 - 標準 QoS 32-49
- デフォルト設定
 - 階層型 QoS 32-95
 - 自動 QoS 32-37
 - 標準 QoS 32-47
- 統計情報の表示 32-94
- 入力キュー
 - DSCP または CoS 値のマッピング 32-82
 - SRR 共有ウェイトの設定 32-84
 - WTD スレッシュホールドの設定 32-82
 - WTD、説明 32-21
 - スケジューリング、説明 32-6
 - スレッシュホールド マップの表示 32-83
 - 説明 32-6
 - 帯域幅の割り当て 32-84
 - 特性 32-82
 - バッファ スペースの割り当て 32-84
 - バッファおよび帯域幅の割り当て、説明
32-21
 - プライオリティ キュー、設定 32-85
 - プライオリティ キュー、説明 32-22
 - フローチャート 32-20
- パケットの変更 32-51
- フローチャート
 - 2 つのレートを使用するポリシングおよびマ
キング 32-31
 - 階層型キューのキューイングおよびスケジュー
リング 32-33
 - 出力キューセットのキューイングおよびスケ
ジューリング 32-23

- 入力キューイングおよびスケジューリング 32-20
- 入力分類 32-10
- 非階層型単一レベルの入力ポリシーおよびマーキング 32-15
- 分類
 - CoS の信頼、説明 32-8
 - DSCP トランスペアレンシ、説明 32-57
 - DSCP の信頼、説明 32-8
 - IP ACL、説明 32-9, 32-10
 - IP precedence の信頼、説明 32-8
 - IP トラフィックのオプション 32-8
 - MAC ACL、説明 32-8, 32-10
 - 階層型、定義 32-6
 - クラス マップ、説明 32-11, 32-29
 - 転送処理 32-4
 - 入力、定義 32-6
 - 非 IP トラフィックのオプション 32-8
 - フレームおよびパケット 32-4
 - フローチャート、入力 32-10
- ポリサー
 - 階層型、2 つのレート 32-30
 - サポート数 32-50, 32-96
 - 集約ポリサーの設定の表示 32-94
 - 設定 32-67, 32-72, 32-75
 - タイプ 32-13
 - 入力のタイプ 32-13
 - 入力、単一レート 32-14
- ポリシー マップ
 - SVI での階層 32-12, 32-15
 - 設定 32-65
 - 説明 32-11, 32-29
 - デュアルレベル 32-12, 32-15
 - 入力の特性 32-65
 - 非階層型単一レベル 32-12
 - 表示 32-94, 32-123
- ポリシー、インターフェイスへの付加 32-14, 32-32
- ポリシー マップ
 - 階層型、説明 32-30
 - 説明 32-6
 - トークン バケット アルゴリズム 32-14
 - 入力、説明 32-12
- マーキング
 - 説明、階層型 32-7, 32-30
 - 説明、入力 32-6, 32-14
- マークダウン アクション 32-67, 32-72, 32-101, 32-105
- マッピング テーブル
 - CoS/DSCP 32-77
 - DSCP/CoS 32-79
 - DSCP/DSCP 変換 32-81
 - IP precedence/DSCP 32-78
 - タイプ 32-17
 - 表示 32-94
 - ポリシー設定 DSCP 32-79
- QoS 機能 1-7
- QoS の CoS 出力キュー スレッシュホールド マップ 32-25
- QoS の CoS 入力キュー スレッシュホールド マップ 32-21
- QoS の CoS/DSCP マップ 32-77
- QoS の DSCP 出力キュー スレッシュホールド マップ 32-25
- QoS の DSCP 入力キュー スレッシュホールド マップ 32-21
- QoS の DSCP/CoS マップ 32-79
- QoS の DSCP/DSCP 変換 マップ 32-81
- QoS の IP precedence/DSCP マップ 32-78
- QoS の信頼境界 32-56
- QoS の輻輳管理 32-34
- QoS のプライオリティ キュー
 - ES ポートでの LLQ 32-118
 - 入力 32-85
 - 標準ポートの出力 32-25
- QoS のポリシー マップ
 - SVI での階層
 - 設定 32-68
 - 説明 32-15
 - 説明 32-11, 32-29
 - デュアルレベル
 - 設定 32-68
 - 説明 32-15
 - 入力の特性 32-65
 - 非階層型単一レベル
 - 設定 32-65
 - 説明 32-13
 - 表示 32-94, 32-123
- QoS のポリシー設定 DSCP マップ 32-79
- QoS のマッピング テーブル
 - 設定
 - CoS/DSCP 32-77
 - DSCP 32-76

- DSCP/CoS 32-79
- DSCP/DSCP 変換 32-81
- IP precedence/DSCP 32-78
- ポリシング設定 DSCP 32-79
- 説明 32-17

- R**

- RADIUS**
- AAA サーバ グループの定義 8-26
- アトリビュート
 - ベンダー固有 8-30, 8-32
- 概要 8-19
- サーバホストの識別 8-21
- 設定
 - アカウントिंग 8-29
 - 許可 8-28
 - 通信、グローバル 8-22, 8-30
 - 通信、サーバ単位 8-21, 8-22
 - 認証 8-24
 - 複数の UDP ポート 8-22
- 設定の表示 8-32
- デフォルト設定 8-21
- 動作 8-20
- ネットワーク環境 8-19
- 方式リスト、定義 8-21
- ユーザがアクセスするサービスの追跡 8-29
- ユーザへのサービスの制限 8-28
- Rapid per-VLAN Spanning-Tree Plus
 - Rapid PVST+ を参照
- Rapid PVST+
 - IEEE 802.1Q トランクのインターオペラビリティ 17-10
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - 説明 17-9
- Rapid Spanning-Tree Protocol
 - RSTP を参照
- RARP 34-9
- rcommand コマンド 4-4
- RCP
 - イメージファイル
 - アップロード B-34
 - サーバの準備 B-31
 - ダウンロード B-32
 - 古いイメージの削除 B-34
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-19
 - 概要 B-16
 - サーバの準備 B-17
 - ダウンロード B-18
- Remote Authentication Dial-In User Service
 - RADIUS を参照
- Remote Copy Protocol
 - RCP を参照
- Remote Network Monitoring
 - RMON を参照
- Reverse Address Resolution Protocol
 - RARP を参照
- RFC
 - 1058、RIP 34-21
 - 1157、SNMPv1 30-2
 - 1166、IP アドレス 34-6
 - 1253、OSPF 34-27
 - 1305、NTP 6-3
 - 1587、NSSA 34-27
 - 1757、RMON 28-2
 - 1163、BGP 34-46
 - 1267、BGP 34-46
 - 1771、BGP 34-46
 - 1901、SNMPv2C 30-2
 - 1902 ~ 1907、SNMPv2 30-2
 - 1112、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
 - 2236、IP マルチキャストおよび IGMP 23-2
 - 2273 ~ 2275、SNMPv3 30-2
- RIP
 - アドバタイズ 34-21
 - サマリーアドレス 34-24
 - スプリット ホライズン 34-24
 - 設定 34-22
 - 説明 34-21
 - デフォルト設定 34-21
 - 認証 34-24
 - ホップ カウント 34-21
- RMON
 - アラームおよびイベントのイネーブル化 28-3
 - 概要 28-2
 - サポートされているグループ 28-2
 - ステータスの表示 28-6
 - デフォルト設定 28-3
 - 統計情報
 - グループ イーサネット、収集 28-5

グループ履歴、収集 28-4

route-map コマンド 34-99

Routing Information Protocol

RIP を参照

RSPAN

VLAN ベース 27-7

宛先ポート 27-8

概要 27-2

受信トラフィック 27-5

ステータスの表示 27-26

セッション

作成 27-19

送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-25

定義 27-4

入力トラフィックがイネーブル 27-23

モニタ対象ポートの指定 27-19

セッション限度 27-11

設定時の注意事項 27-19

送信されたトラフィック 27-6

送信元ポート 27-6

デフォルト設定 27-11

特性 27-8

他の機能との相互作用 27-9

モニタ側ポート 27-8

モニタ対象ポート 27-6

RSTP

802.1D とのインターオペラビリティ

TC 18-14

移行プロセスの再起動 18-26

説明 18-9

BPDU

処理 18-14

フォーマット 18-13

MSTP も参照

RP の定義 18-10

アクティブ トポロジーの決定 18-10

概要 18-10

高速コンバージェンス

RP 18-11

エッジポートおよび PortFast 18-11

説明 18-11

ポイントツーポイントリンク 18-11, 18-25

指定スイッチの定義 18-10

指定ポートの定義 18-10

提案合意ハンドシェイク プロセス 18-11

ポートの役割

説明 18-10

同期化 18-12

S

SDM

説明 7-1

テンプレート

個数 7-2

設定 7-3

設定時の注意事項 7-3

Secure Shell

SSH を参照

Secure Socket Layer

SSL を参照

set-request 動作 30-5

SFP

インターフェイス番号 10-8

ステータスのモニタ 1-10, 10-24, 41-10

ステータス、表示 1-10

セキュリティと識別 41-10

Shaped Round Robin

SRR を参照

show access-lists hw-summary コマンド 31-22

show cdp traffic コマンド 25-5

show cluster members コマンド 4-4

show configuration コマンド 10-19

show forward コマンド 41-19

show interfaces コマンド 10-16, 10-19

show l2protocol コマンド 16-19, 16-22

show platform forward コマンド 41-19

show running-config コマンド

ACL の表示 31-21, 31-42

インターフェイスに関する記述の追加 10-19

show および more コマンドの出力、フィルタリング 2-10

Smartport マクロ

Web サイト 11-2

グローバルパラメータ値の適用 11-5, 11-7

作成 11-4

シスコのデフォルトマクロの適用 11-7

設定時の注意事項 11-3

定義 11-2

デフォルト設定 11-3

トレーシング 11-3

- パラメータ値の適用 11-5, 11-7
- 表示 11-8
- マクロの適用 11-5
- SNMP トラップ、および CFM 36-5
- SNAP 25-1
- SNMP
 - MIB
 - 位置 A-4
 - サポート A-1
 - MIB 変数へのアクセス 30-4
 - Syslog メッセージの制限 29-10
 - TFTP サーバのアクセス制限 30-15
 - インフォーム
 - trap キーワード 30-11
 - イネーブル化 30-14
 - 説明 30-5
 - トラップとの違い 30-5
 - エージェント
 - 説明 30-4
 - ディセーブル化 30-7
 - エンジン ID 30-7
 - 概要 30-2, 30-4
 - クラスタの管理 4-5
 - グループ 30-6, 30-9
 - コミュニティストリング
 - 概要 30-4
 - 設定 30-7
 - サポートされるバージョン 30-2
 - システム コンタクトおよびロケーション 30-14
 - ステータス、表示 30-17
 - 設定時の注意事項 30-6
 - 設定例 30-16
 - 通知 30-5
 - デフォルト設定 30-6
 - トラップ
 - MAC アドレス通知のイネーブル化 6-24
 - イネーブル化 30-11
 - インフォームとの違い 30-5
 - 概要 30-2, 30-5
 - 説明 30-4, 30-5
 - タイプ 30-11
 - トラップ マネージャ、設定 30-13
 - 認証レベル 30-10
 - ホスト 30-6
 - マネージャ機能 30-3
 - ユーザ 30-6, 30-9
- SNMPv1 30-3
- SNMPv2C 30-3
- SNMPv3 30-3
- SPAN
 - VLAN ベース 27-7
 - 宛先ポート 27-8
 - 概要 27-2
 - 受信トラフィック 27-5
 - ステータスの表示 27-26
 - セッション
 - 宛先 (モニタ側) ポートの削除 27-14
 - 作成 27-12
 - 送信元トラフィックの特定の VLAN への制限 27-17
 - 定義 27-4
 - 入力転送の設定 27-16, 27-24
 - 入力トラフィックがイネーブル 27-15
 - モニタ対象ポートの指定 27-12
 - セッション限度 27-11
 - 設定時の注意事項 27-11
 - 送信されたトラフィック 27-6
 - 送信元ポート 27-6
 - デフォルト設定 27-11
 - 他の機能との相互作用 27-9
 - モニタ側ポート 27-8
 - モニタ対象ポート 27-6
- SPAN トラフィック 27-5
- SRR
 - 共有モード 32-20
 - シェーピング モード 32-20
 - 設定
 - 出力キューセットの共有ウェイト 32-91
 - 出力キューセットのシェーピング ウェイト 32-90
 - 入力キューの共有ウェイト 32-84
 - 説明 32-19
 - プライオリティ キューイングの相互作用 32-50
- SSH
 - 暗号化アルゴリズム 8-39
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-39
 - 設定 8-40
 - 説明 8-39
 - ユーザ認証方式、サポート対象 8-39
- SSL
 - 暗号化ソフトウェア イメージ 8-43
 - セキュア HTTP クライアントの設定 8-48
 - セキュア HTTP サーバの設定 8-46

- 設定時の注意事項 8-45
- 説明 8-43
- モニタ 8-49
- standby ip コマンド 35-5
- storm-control コマンド (ブロードキャスト) 24-5
- storm-control コマンド (マルチキャスト) 24-5
- storm-control コマンド (ユニキャスト) 24-5
- STP
 - BackboneFast
 - イネーブル化 19-14
 - 説明 19-6
 - BPDU ガード
 - イネーブル化 19-11
 - 説明 19-3
 - BPDU フィルタリング
 - イネーブル化 19-12
 - 説明 19-3
 - BPDU メッセージ交換 17-3
 - EtherChannel ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - ディセーブル化 19-15
 - IEEE 802.1D とブリッジ ID 17-4
 - IEEE 802.1D とマルチキャストアドレス 17-8
 - IEEE 802.1Q トランクでの制約 17-10
 - IEEE 802.1t および VLAN ID 17-4
 - PortFast
 - イネーブル化 19-10
 - 説明 19-2
 - PortFast イネーブル ポートのシャットダウン 19-3
 - RP の定義 17-4
 - UplinkFast
 - イネーブル化 19-13
 - 説明 19-4
 - VLAN ブリッジ 17-11
 - インターフェイス ステート
 - 概要 17-5
 - ディセーブル 17-7
 - フォワーディング 17-6, 17-7
 - ブロッキング 17-6
 - ラーニング 17-6
 - リスニング 17-6
 - インターフェイス ステート、ブロッキングからフォワーディング 19-2
 - オプション機能のデフォルト設定 19-10
 - 下位 BPDU 17-4
 - 概要 17-2
 - カウンタ、クリア 17-23
 - 拡張システム ID
 - 概要 17-4
 - セカンダリ ルート スイッチの影響 17-17
 - 予期しない動作 17-16
 - ルート スイッチへの影響 17-15
 - 間接リンク障害の検出 19-6
 - キープアライブ メッセージ 17-3
 - サポートされるインスタンス 17-10
 - サポートされるプロトコル 17-9
 - サポートされるモード 17-9
 - 指定スイッチの定義 17-4
 - 指定ポートの定義 17-4
 - 冗長接続 17-8
 - ステータスの表示 17-23
 - ステータス、表示 17-23
 - 設定
 - hello タイム 17-21
 - 最大エージング タイム 17-22
 - スイッチ プライオリティ 17-20
 - スパニングツリー モード 17-14
 - セカンダリ ルート スイッチ 17-17
 - 転送遅延時間 17-21
 - パス コスト 17-18
 - ポート プライオリティ 17-17
 - ルート スイッチ 17-15
 - 設定時の注意事項 17-13, 19-10
 - タイマー、説明 17-20
 - ディセーブル化 17-15
 - デフォルト設定 17-12
 - パス コスト 12-30, 12-31
 - ポート プライオリティ 12-29
 - マルチキャスト アドレス、影響 17-8
 - モード間のインターオペラビリティと下位互換性 17-10
 - 優位 BPDU 17-3
 - ルート ガード
 - イネーブル化 19-15
 - 説明 19-8
 - ルート スイッチ
 - 拡張システム ID の影響 17-4, 17-15
 - 設定 17-15
 - 選択 17-4
 - 予期しない動作 17-16
 - ルート スイッチとしての選択の防止 19-8

- ルータポート選択の時間短縮 19-4
 - ループガード
 - イネーブル化 19-16
 - 説明 19-9
 - レイヤ2プロトコルトンネリング 16-13
 - ロードシェアリング
 - 概要 12-28
 - パスコストの使用 12-30
 - ポートプライオリティ 12-28
 - SunNet Manager 1-3
 - SVI
 - IPユニキャストルーティング 34-4
 - VLAN間のルーティング 12-3
 - VLANの接続 10-7
 - 定義 10-5
 - ルータACL 31-3
 - SVIでの階層型ポリシーマップ 32-12
 - 設定 32-68
 - 説明 32-15
 - Switch Database Management
 - SDMを参照
 - Switched Port Analyzer
 - SPANを参照
 - switchport block multicast コマンド 24-8
 - switchport block unicast コマンド 24-8
 - switchport mode dot1q-tunnel コマンド 16-8
 - switchport protected コマンド 24-7
 - switchport コマンド 10-13
 - Syslog
 - システムメッセージロギングを参照
- T**
- TACACS+
 - アカウントिंग、定義 8-12
 - 概要 8-11
 - 許可、定義 8-12
 - サーバホストの識別 8-14
 - 設定
 - アカウントिंग 8-18
 - 許可 8-17
 - 認証鍵 8-14
 - ログイン認証 8-15
 - 設定の表示 8-18
 - デフォルト設定 8-14
 - 動作 8-13
 - 認証、定義 8-12
 - ユーザがアクセスするサービスの追跡 8-18
 - ユーザへのサービスの制限 8-17
 - Tag Distribution Protocol
 - TDPを参照
 - tar ファイル
 - イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-7
 - 内容の表示 B-7
 - TDP 37-8
 - Telnet
 - 管理インターフェイスへのアクセス 2-11
 - 接続数 1-4
 - パスワードの設定 8-7
 - Terminal Access Controller Access Control System Plus
 - TACACS+を参照
 - TFTP
 - イメージファイル
 - アップロード B-25
 - サーバの準備 B-23
 - 削除 B-25
 - ダウンロード B-24
 - コンフィギュレーションファイル
 - アップロード B-12
 - サーバの準備 B-11
 - ダウンロード B-12
 - サーバのアクセス制限 30-15
 - 自動設定 3-6
 - ベースディレクトリのコンフィギュレーションファイル 3-6
 - time-range コマンド 31-17
 - traceroute コマンド 41-15
 - IP traceroute も参照
 - traceroute、レイヤ2
 - ARP 41-14
 - CDP 41-13
 - IPアドレスおよびサブネット 41-14
 - MACアドレスおよびVLAN 41-13
 - 使用上の注意事項 41-13
 - 説明 41-13
 - ポートに複数のデバイス 41-14
 - マルチキャストトラフィック 41-13
 - ユニキャストトラフィック 41-13
 - Type of Service 1-7

U

UDLD

- アグレッシブモード、説明 26-2
- イネーブル化
 - インターフェイス単位 26-7
 - グローバル 26-6
- インターフェイスのリセット 26-7
- エコーを使用する検出メカニズム 26-3
- 概要 26-2
- 近接データベース 26-3
- 自動ネゴシエーション 26-2
- ステータス、表示 26-8
- 設定時の注意事項 26-5
- 単一方向リンク、定義 26-2
- デフォルト設定 26-5
- 動作モード 26-2
- 標準モード、説明 26-2
- リンク検出メカニズム 26-2
- レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16

UDLD によりディセーブル化されたインターフェイスのリセット 26-7

UDP、設定 34-16

UNI

リモート (CFM) 36-10

UNIX Syslog サーバ

- サポートされているファシリティ 29-12
- デーモン設定 29-11
- メッセージロギングの設定 29-12

UplinkFast

- イネーブル化 19-13
- 説明 19-4

User Datagram Protocol

UDP を参照

V

VC 37-15

Virtual Connection

VC を参照

Virtual Private Network

VPN を参照

VLAN

- 1006 ~ 4094 の ID の設定 12-14
- config-vlan モードでの作成 12-10
- STP および IEEE 802.1Q トランク 17-10

SVI による接続 10-7

VLAN コンフィギュレーション モードでの作成 12-11

VLAN データベースへの追加 12-10

VLAN ブリッジ STP 17-11, 40-2

VTP モード 13-3

拡張範囲 12-1, 12-14

機能 1-5

サービス プロバイダー ネットワーク 上でのカスタマーの番号管理 16-3

削除 12-12

作成 12-10

サポート 12-3

サポート数 1-5

図 12-2

スタティック アクセス ポート 12-13

スパニングツリー インスタンス 12-3, 12-8, 12-15

設定 12-1

設定時の注意事項

拡張範囲 VLAN 12-14

標準範囲 VLAN 12-7

設定モードのオプション 12-8

説明 10-2, 12-2

送信元トラフィックの制限

RSPAN を使用 27-25

SPAN を使用 27-17

ダイナミック アドレスの有効期間 17-9

デフォルト設定 12-9

トークンリング 12-7

トラフィック 12-3

トランク上での許可 12-25

内部 12-15

ネイティブ、設定 12-27

パラメータ 12-6

表示 12-18

標準範囲 12-1, 12-6

変更 12-10

ポート メンバーシップ モード 12-3

VLAN 1 最小化 12-25

VLAN 1、トランク ポート上でのディセーブル化 12-25

VLAN ACL

VLAN マップを参照

vlan database コマンド 12-8

VLAN ID

解決 6-30

- カスタマー側 16-9
 - サービスプロバイダー 16-10
 - マッピング 16-9
- VLAN ID の変換
 - VLAN マッピングを参照
- VLAN ID、サポート数 1-5
- VLAN Management Policy Server
 - VMPS を参照
- VLAN Query Protocol
 - VQP を参照
- VLAN Trunk Protocol
 - VTP を参照
- VLAN 管理ドメイン 13-2
- VLAN 間ルーティング 34-2
- vlan グローバル コンフィギュレーション コマンド 12-8
- VLAN コンフィギュレーション
 - 起動時 12-9
 - 保存 12-9
- VLAN 設定モード 2-3, 12-8
- VLAN 単位スパンニングツリー
 - PVST+ を参照
- VLAN データベース
 - VLAN 設定の保存 12-9
 - VTP 13-1
 - スタートアップ コンフィギュレーション ファイル 12-9
 - 保存された VLAN ID 12-6
- VLAN トランク 12-19
- VLAN の削除 12-12
- VLAN フィルタリング、SPAN 27-7
- VLAN マッピング
 - 802.1Q トラフィック 16-11
 - 設定 16-10
 - 説明 16-9
- VLAN マップ
 - ACL の表示 31-42
 - アクセスを拒否する例 31-37
 - 一般的な使用法 31-35
 - 作成 31-32
 - 設定 31-31
 - 設定時の注意事項 31-32
 - 設定例 31-36, 31-37
 - 定義 31-3
 - 適用 31-35
 - パケットの拒否および許可 31-33
 - 表示 31-42
- VLAN マップ エントリ、順序 31-32
- VLAN メンバーシップ
 - 確認 12-35
 - モード 12-4
- vlan.dat ファイル 12-6
- vlan-assignment 応答、VMPS 12-32
- VMPS
 - VLAN への MAC アドレスのマッピング 12-32
 - 管理 12-36
 - サーバアドレスの入力 12-34
 - 再確認インターバル、変更 12-36
 - 再試行回数、変更 12-36
 - 設定時の注意事項 12-33
 - 設定例 12-37
 - 説明 12-32
 - ダイナミック ポート メンバーシップ
 - 再確認 12-36
 - 説明 12-33
 - トラブルシューティング 12-37
 - デフォルト設定 12-33
 - メンバーシップの確認 12-35
 - モニタ 12-36
- Voice-over-IP 15-2
- VPN
 - IPv4 プレフィクス 37-7
 - MPLS 37-8
 - multi-VRF CE 34-83
 - サービスプロバイダー ネットワーク 34-79
 - サポート数 37-8
 - 設定 37-10
 - 説明 37-4
 - 転送 34-81
 - 利点 37-5
 - ルーティングセッションの設定 34-83
 - ルート 34-80, 37-4, 37-7
- VPN Routing/Forwarding テーブル
 - VRF を参照
- VPN サービス
 - レイヤ 2 1-6
 - レイヤ 3 1-6
- VQP 12-32
- VRF
 - MPLS-VPN 内 37-4
 - 設定 37-10
 - 定義 34-81
 - テーブル 34-79

- 要素 37-4
- VTP
 - アドバタイズ 12-22, 13-4
 - 拡張範囲 VLAN 13-2
 - クライアント モード、設定 13-12
 - コンフィギュレーション リビジョン番号
 - 注意事項 13-16
 - リセット 13-17
 - サーバモード、設定 13-11
 - 使用方法 13-2
 - 整合性検査 13-5
 - 設定
 - VLAN 設定モード 13-9
 - イネーブル EXEC モード 13-8
 - クライアント モード 13-12
 - グローバル コンフィギュレーション モード 13-8
 - サーバモード 13-11
 - 注意事項 13-9
 - トランスペアレント モード 13-13
 - 保存 13-9
 - 要件 13-10
 - 設定の要件 13-10
 - 設定モード オプション 13-8
 - 説明 13-2
 - ディセーブル化 13-13
 - デフォルト設定 13-8
 - 統計情報 13-17
 - トークンリングのサポート 13-5
 - ドメイン 13-2
 - ドメインへのクライアントの追加 13-16
 - ドメイン名 13-9
 - トランスペアレント モード、設定 13-13
 - バージョン 1 13-5
 - バージョン 2
 - イネーブル化 13-14
 - 概要 13-5
 - 設定時の注意事項 13-10
 - ディセーブル化 13-15
 - バージョン、注意事項 13-10
 - パスワード 13-10
 - 標準範囲 VLAN 13-2
 - プルーニング
 - イネーブル化 13-15
 - 概要 13-5
 - 設定例 13-6
 - ディセーブル化 13-16
 - プルーニング適格リスト、変更 12-26
 - モード
 - 移行 13-3
 - クライアント 13-3, 13-12
 - サーバ 13-3, 13-11
 - トランスペアレント 13-4, 13-13
 - モニタ 13-17
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-13
 - VTP バージョン 2 における整合性検査 13-5
- W
 - Weighted Tail Drop
 - WTD を参照
 - WRED
 - DSCP ベース WRED の設定 32-110
 - IP precedence ベース WRED の設定 32-114
 - 説明 32-35
 - WTD
 - スレッシュホールドの設定
 - 出力キューセット 32-87
 - 入力キュー 32-82
 - 説明 32-19
- X
 - XMODEM プロトコル 41-2
- あ
 - アカウンティング
 - IEEE 802.1x 9-5, 9-24
 - RADIUS による 8-29
 - TACACS+ による 8-12, 8-18
 - アクセス グループ
 - IP 31-21
 - インターフェイスへの ACL の適用 31-21
 - レイヤ 2 31-21
 - レイヤ 3 31-21
 - アクセス ポート
 - 定義 10-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
 - アクセス リスト
 - ACL を参照

- アクセス拒否の応答、VMPS 12-32
- アクセス制御エントリ
 - ACE を参照
- アクセスの制限
 - NTP サービス 6-9
 - RADIUS 8-19
 - TACACS+ 8-11
 - 概要 8-2
 - パスワードおよび権限レベル 8-3
- アクティブリンク 20-2
- アクティブルータ 35-2
- アップロード
 - イメージファイル
 - FTP の使用 B-29
 - RCP の使用 B-34
 - TFTP の使用 B-25
 - 準備 B-23, B-26, B-31
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーションファイル
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
- 宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-8
- 宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
- 宛先のアドレス、ACL 31-12
- アドバタイズ
 - CDP 25-1
 - RIP 34-21
 - VTP 12-22, 13-3, 13-4
- アトリビュート、RADIUS
 - ベンダー固有 8-30, 8-32
- アドレス
 - MAC アドレス テーブルの表示 6-29
 - MAC、検出 6-30
 - スタティック
 - 追加および削除 6-25
 - 定義 6-21
 - ダイナミック
 - エージング タイムの設定 6-23
 - 削除 6-23
 - 定義 6-21
 - デフォルトの有効期間 17-9
 - 有効期間の短縮 17-9
 - ラーニング 6-21
 - マルチキャスト
 - STP アドレス管理 17-8
 - グループアドレスの範囲 38-3
 - アドレス解決 6-30, 34-8
 - アドレスのエイリアス 23-2
 - アベイラビリティ機能 1-4
 - アラーム、RMON 28-3
 - 暗号化ソフトウェア イメージ
 - Kerberos 8-33
 - SSH 8-39
 - SSL 8-43
 - 暗号化、CipherSuite 8-45
 - 安全なリモート接続 8-39
- い
 - イーサネット OAM マネージャ 36-1
 - イーサネット VLAN
 - 作成 12-10
 - デフォルト値および範囲 12-9
 - 変更 12-10
 - イーサネット インフラストラクチャ 36-1
 - イーサネットの操作、管理、およびメンテナンス
 - イーサネット OAM を参照
 - 一時自己署名証明書 8-44
 - イネーブル EXEC モード 2-2
 - イネーブル シークレット パスワード 8-4
 - イネーブル パスワード 8-4
 - イベント、RMON 28-3
 - インターフェイス
 - カウンタ、クリア 10-25
 - 管理 1-3
 - 記述名、追加 10-19
 - 記述、追加 10-19
 - 再起動 10-25
 - サポート 10-8
 - シャットダウン 10-25
 - 情報の表示 10-24
 - 設定 10-8
 - 設定時の注意事項 10-14
 - 説明 10-19
 - 速度の設定 10-14
 - タイプ 10-2
 - デュプレックス モードの設定 10-14
 - 範囲 10-9
 - 番号 10-8

- 物理的、識別 10-8
 - フロー制御 10-16
 - モニタ 10-24
 - レンジマクロ 10-11
 - インターフェイス コンフィギュレーション モード 2-3
 - インターフェイス タイプ 10-8
 - インターフェイスの shutdown コマンド 10-25
 - インターフェイスのクリア 10-25
- え**
- エージング タイム
 - MAC アドレス テーブル 6-23
 - 最大
 - MSTP 用 18-24, 18-25
 - STP 用 17-22
 - 短縮
 - MSTP 用 18-24
 - STP 用 17-9, 17-21
 - エリア ルーティング
 - IS-IS 34-68
 - ISO IGRP 34-68
- お**
- オプション、管理 1-3
 - 重み付きランダム早期検出
 - WRED を参照
 - 音声 VLAN
 - Cisco 7960 Phone、ポート接続 15-2
 - IP Phone への接続 15-5
 - 音声トラフィックに対するポートの設定
 - 802.1p プライオリティ タグ付きフレーム 15-6
 - 802.1Q フレーム 15-5
 - 設定時の注意事項 15-4
 - 説明 15-2
 - データ トラフィック用の IP Phone の設定
 - 着信フレームの CoS の無効化 15-7
 - 着信フレームの CoS プライオリティの信頼 15-7
 - デフォルト設定 15-4
 - 表示 15-7
- か**
- 階層型 QoS
 - QoS を参照
 - 回復手順 41-1
 - 外部ネイバ、BGP 34-50
 - カウンタ、インターフェイスのクリア 10-25
 - 鍵発行局
 - Kerberos、KDC を参照
 - 拡張システム ID
 - MSTP 18-18
 - STP 17-4, 17-15
 - 拡張範囲 VLAN
 - 作成 12-14, 12-15
 - 設定 12-14
 - 設定時の注意事項 12-14
 - 定義 12-1
 - 隔離 VLAN 14-2, 14-3
 - 隔離ポート 14-3
 - カスタマー エッジ デバイス
 - multi-VRF CE 34-79
 - VPN 37-4, 37-7
 - カスタマー エッジ デバイス 上での複数の VPN のルーティング / フォワーディング
 - multi-VRF CE を参照
 - 仮想プライベート LAN サービス
 - VPLS を参照
 - 仮想ルータ 35-2, 35-3
 - 簡易ネットワーク管理プロトコル
 - SNMP を参照
 - 環境変数、機能 3-15
 - 間接リンク障害の検出、STP 19-6
 - 管理オプション
 - CLI 2-1
 - CNS 1-3, 5-2
 - SNMP 30-2
 - 管理機能 1-3
 - 管理距離
 - OSPF 34-35
 - 定義 34-102
 - ルーティング プロトコルのデフォルト 34-92
 - 関連資料 xli
- き**
- キープアライブ メッセージ 17-3

- 起動
 - 起動プロセス 3-2
 - 手動 3-13
 - 特定のイメージ 3-14
 - ブートローダ、機能 3-2
- 機能
 - QoS 1-7
 - VLAN 1-5
 - アベイラビリティ 1-4
 - 管理オプション 1-3
 - 管理性 1-3
 - セキュリティ 1-6
 - パフォーマンス 1-2
 - モニタ 1-10
 - レイヤ3 1-9
 - レイヤ2 VPN サービス 1-6
 - レイヤ3 VPN サービス 1-6
- 逆アドレス解決 34-8
- 許可
 - RADIUS による 8-28
 - TACACS+ による 8-12, 8-17
- 許可 VLAN リスト 12-25
- 近接ディスカバリおよび回復、EIGRP 34-39
- く
 - クエリー、IGMP 23-4
 - クライアントモード、VTP 13-3
 - クラスマップ、QoS
 - 設定
 - 階層型 32-98
 - 入力 32-63
 - 説明 32-11, 32-29
 - 表示 32-94, 32-123
 - クラスタ、スイッチ
 - 管理
 - CLI 4-4
 - SNMP 4-5
 - シスコ Network Assistant の「はじめに」も参照
 - 説明 4-1
 - プランニングの考慮事項
 - CLI 4-4
 - SNMP 4-5
 - クラスベース均等化キューイング
 - CBWFQ を参照
 - クラスレスルーティング 34-7
- グローバル コンフィギュレーション モード 2-2
- クロスチェック、CFM 36-4, 36-8
- クロック
 - システムクロックを参照
- け
 - ケーブル、単一方向リンクのモニタ 26-2
 - ゲスト VLAN と 802.1x 9-9
 - 権限レベル
 - 回線のデフォルトの変更 8-10
 - 概要 8-3, 8-8
 - コマンドスイッチ 4-4
 - コマンドの設定 8-9
 - 終了 8-10
 - メンバー スイッチへのアクセス 4-4
 - ログイン 8-10
- こ
 - 高速コンバージェンス 18-11
 - 候補スイッチ
 - コマンドスイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、メンバー スイッチ
 - 定義 4-3
 - 要件 4-3
 - 固定セキュア MAC アドレスの学習 24-10
 - コネクションレス サービス、VPN 37-5
 - コマンド
 - no および default 2-5
 - 権限レベルの設定 8-9
 - 省略 2-4
 - コマンドスイッチ
 - 候補スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、メンバー スイッチ、スタンバイ コマンド スイッチも参照
 - 定義 4-2
 - パスワード権限レベル 4-4
 - 要件 4-2
 - コマンドモード 2-2
 - コマンド入力時のエラー メッセージ 2-5
 - コマンドの省略形 2-4
 - コマンドライン インターフェイス
 - CLI を参照
 - コミュニティ VLAN 14-2, 14-3

- コミュニティ ストリング
 - 概要 30-4
 - 設定 30-7
- コミュニティ ポート 14-3
- コミュニティ リスト、BGP 34-60
- 混合ポート
 - 設定 14-13
 - 定義 14-3
- コンソール ポート、接続 2-11
- コンフィギュレーション ファイル
 - DHCP による取得 3-8
 - TFTP サーバ アクセス制限 30-15
 - アップロード
 - FTP の使用 B-15
 - RCP の使用 B-19
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - 格納されたコンフィギュレーションの削除 B-20
 - コピー時の無効な組み合わせ B-5
 - 作成および使用に関する注意事項 B-9
 - システム コンタクトおよびロケーション情報 30-14
 - スタートアップ コンフィギュレーションのクリア B-20
 - 説明 B-9
 - タイプおよび場所 B-10
 - ダウンロード
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 自動 3-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - テキスト エディタによる作成 B-10
 - デフォルト名 3-12
 - パスワード回復ディセーブル化に関する考慮事項 8-6
 - ファイル名の指定 3-12
- コンフィギュレーション設定、保存 3-11

- さ
- サーバ モード、VTP 13-3
- サービス クラス
 - CoS を参照
- サービス プロバイダー ネットワーク
 - 802.1Q トンネリング 16-2
 - EoMPLS 37-15
 - EtherChannel のレイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-15
 - MPLS 37-3
 - MPLS VPN の設定 37-8
 - MSTP および RSTP 18-1
 - VPN 37-4, 37-5
 - カスタマー VLAN 16-3
 - レイヤ 2 プロトコル 16-13
- サービス品質
 - QoS を参照
- 再確認インターバル、VMPS、変更 12-36
- 再試行回数、VMPS、変更 12-36
- 最大エージング タイム
 - MSTP 18-24
 - STP 17-22
- 最大ホップ カウント、MSTP 18-25
- サブドメイン、プライベート VLAN 14-2
- サブネット ゼロ 34-6
- サブネット マスク 34-6

- し
- シェーピング、平均レート
 - 設定 32-121
 - 説明 32-36
- 時刻
 - NTP およびシステム クロックを参照
- システム MTU
 - EoMPLS 37-17
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-6
 - IS-IS LSP 34-73
 - サポートされる最大のサイズ 10-22
 - 設定 10-22
- システム クロック
 - NTP も参照
 - 概要 6-2
 - 設定
 - 手動 6-12
 - タイム ゾーン 6-13
 - 夏時間 6-14
 - 日時 の表示 6-13
- システム プロンプト
 - デフォルト設定 6-16

- システム メッセージ ロギング
 - level キーワード、説明 29-9
 - UNIX Syslog サーバ
 - サポートされているファシリティ 29-12
 - デーモンの設定 29-11
 - ロギング ファシリティの設定 29-12
 - イネーブル化 29-5
 - エラー メッセージの重大度の定義 29-9
 - 概要 29-2
 - シーケンス番号、イネーブル化およびディセーブル化 29-8
 - 出力先デバイスの設定 29-5
 - 設定の表示 29-13
 - タイムスタンプ、イネーブル化およびディセーブル化 29-8
 - ディセーブル化 29-4
 - デフォルト設定 29-4
 - ファシリティ キーワード、説明 29-12
 - メッセージ形式 29-3
 - メッセージの制限 29-10
 - ログ メッセージの同期化 29-6
 - システム リソースの最適化 7-2
 - システム ルーティング
 - IS-IS 34-68
 - ISO IGRP 34-68
 - システム名
 - DNS も参照
 - 手動設定 6-16
 - デフォルト設定 6-16
 - 持続自己署名証明書 8-44
 - 実行コンフィギュレーション、保存 3-11
 - 自動 QoS
 - QoS を参照
 - 自動 RP、検出 38-5
 - 自動設定 3-4
 - 自動ネゴシエーション
 - インターフェイス設定時の注意事項 10-14
 - 不一致 41-9
 - 重大度、システム メッセージの定義 29-9
 - 集約アドレス、BGP 34-63
 - 集約ポート
 - EtherChannel を参照
 - 集約ポリサー 32-75
 - 照合、ACL 31-7
 - 冗長性
 - EtherChannel 33-3
 - HSRP 35-2
 - STP
 - パス コスト 12-30
 - バックボーン 17-8
 - ポート プライオリティ 12-28
 - 冗長リンクと UplinkFast 19-13
 - 初期設定
 - デフォルト 1-11
 - ハードウェア インストールガイドを参照
 - 侵入検知システム
 - IDS 装置を参照
 - 信頼できるタイム ソース、説明 6-3
 - 信頼できるトランスポート プロトコル、EIGRP 34-39
- す
- スイッチ クラスタリング テクノロジー 4-1
 - スイッチ ソフトウェアの機能 1-2
 - スイッチ プライオリティ
 - MSTP 18-22
 - STP 17-20
 - スイッチ ポート 10-3
 - スイッチ 仮想インターフェイス
 - SVI を参照
 - スイッチ間リンク
 - ISL を参照
 - スイッチド パケット、ACL 上 31-39
 - スイッチのコンソール ポート 1-4
 - スーパーネット 34-7
 - スケジューリング
 - 階層型キュー
 - CBWFQ 32-35, 32-107
 - LLQ 32-36, 32-118
 - シェーピング 32-36, 32-121
 - 出力キューセット
 - SRR とプライオリティ キューイングの相互作用 32-50
 - WTD スレッシュホールド 32-25, 32-87
 - 共有ウェイト 32-91
 - シェーピング ウェイト 32-90
 - シェーピング モードまたは共有モード 32-25
 - プライオリティ キューイング 32-92
 - 入力キュー
 - WTD スレッシュホールド 32-21, 32-82
 - プライオリティ キューイング 32-22, 32-85

- スケジューリングされたリロード 3-16
- スタートアップ コンフィギュレーション
 - 起動
 - 手動 3-13
 - 特定のイメージ 3-14
 - クリア B-20
 - コンフィギュレーション ファイル
 - 自動ダウンロード 3-12
 - ファイル名の指定 3-12
 - デフォルトのブート コンフィギュレーション 3-12
- スタック変更、効果
 - MSTP 18-8
- スタティック VLAN メンバーシップ 12-2
- スタティック アクセス ポート
 - VLAN への割り当て 12-13
 - 定義 10-3, 12-4
- スタティック アドレス
 - アドレスを参照
- スタティック ルーティング 34-2
- スタティック ルート、設定 34-92
- スタブ エリア、OSPF 34-34
- スタンバイ コマンド スイッチの要件 4-2
- スタンバイ コマンド スイッチ、要件 4-2
- スタンバイ タイマー、HSRP 35-8
- スタンバイ リンク 20-2
- スタンバイ ルータ 35-2
- ストーム制御
 - 設定 24-4
 - 説明 24-2
 - ディセーブル化 24-6
 - 表示 24-17
- ストラタム、NTP 6-3
- スヌーピング、IGMP 23-2
- スパニングツリー プロトコル
 - STP を参照
- スパニングツリーとネイティブ VLAN 12-21
- スプリット ホライズン
 - IGRP 34-25
 - RIP 34-24
- スレッシユホールド、トラフィック レベル 24-3

- せ
- 制限 VLAN
 - IEEE 802.1x での使用 9-10
 - 設定 9-22
 - 説明 9-10
- 成功の応答、VMPS 12-32
- セカンダリ VLAN 14-2
- セキュア HTTP クライアント
 - 設定 8-48
 - 表示 8-49
- セキュア HTTP サーバ
 - 設定 8-47
 - 表示 8-49
- セキュア MAC アドレス
 - 最大数 24-10
 - 削除 24-14
 - タイプ 24-9
- セキュア ポート、設定 24-9
- セキュリティ機能 1-6
- セキュリティ、ポート 24-9
- 接続問題 41-11, 41-13, 41-15
- 接続、安全なリモート 8-39
- 設定時の注意事項
 - ACL の適用 31-20
 - CFM 36-5
 - EtherChannel 33-10
 - HSRP
 - インターフェイス 35-4
 - 認証およびタイマー 35-8
 - プライオリティ 35-6
 - IEEE 802.1Q トランク 12-21
 - IP マルチキャスト ルーティング 38-9
 - MAC ACL の適用 31-29
 - MSTP 18-16, 19-10
 - multi-VRF CE 34-82
 - OAM マネージャ 36-11
 - RSPAN 27-19
 - SDM テンプレート 7-3
 - SNMP 30-6
 - SPAN 27-11
 - STP 17-13, 19-10
 - UDLD 26-5
 - VLAN
 - 拡張範囲 12-14
 - 標準範囲 12-7
 - VLAN マップ 31-32
 - VMPS 12-33
 - VTP 13-9

- インターフェイス速度およびデプレックス モード 10-14
- 音声 VLAN 15-4
- 階層型 QoS 32-95
- 自動 QoS 32-41
- 自動 RP および BSR 38-10
- 代替ブリッジング 40-4
- 名前指定の ACL 31-15
- 標準 QoS 32-49
- ポートセキュリティ 24-11
- ポートベースの認証 9-13
- 保護ポート 24-7
- ルータ ACL および VLAN マップ 31-38
- 設定例
 - ACL および VLAN マップ 31-33
 - IP ACL 31-22
 - multi-VRF CE 34-84
 - SNMP 30-16
 - VLAN マップ 31-35
 - VMPS 12-33
 - ネットワーク 1-14
 - ネットワーク構成 1-14
 - 表記法 xl
- そ
 - 送信元 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-7
 - 送信元 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
 - 送信元 /宛先 IP アドレスベース転送、EtherChannel 33-8
 - 送信元 /宛先 MAC アドレス転送、EtherChannel 33-7
 - 送信元のアドレス、ACL 内 31-12
 - 即時脱退処理、IGMP 23-6, 23-11
 - 速度、インターフェイスでの設定 10-14
 - ソフトウェア イメージ
 - tar ファイル形式、説明 B-22
 - 回復手順 41-2
 - ダウンロードおよびアップロードも参照
 - フラッシュ メモリ内の場所 B-21
 - リロードのスケジューリング 3-16
 - ソフトウェア イメージのアップグレード
 - ダウンロードを参照
 - リリース ノートを参照 xli
 - ソフトウェア イメージのリロード 3-16
 - ソフトウェア障害、XMODEM による回復手順 41-2
- た
 - 対象読者 xxxix
 - 代替ブリッジング
 - STP
 - hello BPDU インターバル 40-9
 - VLAN ブリッジ STP 40-2
 - VLAN ブリッジ スパニングツリー プライオリティ 40-7
 - キープアライブ メッセージ 17-3
 - 最大アイドル時間 40-10
 - 転送遅延時間 40-9
 - パス コスト 40-8
 - ポート プライオリティ 40-7
 - ポートでのディセーブル化 40-10
 - SVI およびルーテッド ポート 40-2
 - VLAN ブリッジ STP 17-11, 40-2
 - インターフェイスの接続 10-7
 - 概要 40-2
 - 設定時の注意事項 40-4
 - 説明 40-2
 - デフォルト設定 40-4
 - ブリッジ グループ
 - 機能 40-2
 - 削除 40-6
 - 作成 40-5
 - サポート数 40-5
 - 説明 40-2
 - 表示 40-11
 - ブリッジ テーブル
 - クリア 40-11
 - 表示 40-11
 - フレーム転送
 - パケットの転送 40-2
 - パケットのフラッディング 40-2
 - プロトコル、未サポート 40-4
 - 保護ポート 40-5
 - 未サポートのプロトコル 40-4
 - ダイナミック ARP 検査
 - ARP ACL の関連プライオリティと DHCP スヌーピング エントリ 22-5
 - ARP キャッシュ ポイズン 22-2
 - ARP スプーフィング攻撃 22-2
 - ARP パケットの速度制限
 - errdisable ステート 22-5
 - 設定 22-11
 - 説明 22-5

- ARP 要求、説明 22-2
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 22-3
 - DoS 攻撃、回避 22-11
 - man-in-the-middle 攻撃、説明 22-2
 - インターフェイスの信頼状態 22-3
 - インターフェイスの信頼状態とネットワーク セキュリティの問題 22-3
 - 機能 22-2
 - クリア
 - 統計情報 22-16
 - ログ バッファ 22-16
 - 設定
 - DHCP 環境で 22-7
 - 着信 ARP パケットのレート制限 22-5, 22-11
 - 非 DHCP 環境の ACL 22-9
 - ログ バッファ 22-14
 - 設定時の注意事項 22-6
 - 説明 22-2
 - 妥当性チェックの実行 22-13
 - デフォルト設定 22-6
 - 統計情報
 - クリア 22-16
 - 表示 22-16
 - 廃棄されたパケットのロギング、説明 22-5
 - 表示
 - ARP ACL 22-16
 - 信頼状態およびレート制限 22-16
 - 設定および動作状態 22-16
 - 統計情報 22-16
 - ログ バッファ 22-16
 - レート制限を超えたことによる errdisable ステート 22-5
 - ログ バッファ
 - クリア 22-16
 - 設定 22-14
 - 表示 22-16
 - ダイナミック アクセス ポート
 - 設定 12-35
 - 定義 10-3
 - 特性 12-4
 - ダイナミック アドレス
 - アドレスを参照
 - ダイナミック ポート VLAN メンバーシップ
 - 再確認 12-35, 12-36
 - 接続タイプ 12-35
 - 説明 12-33
 - トラブルシューティング 12-37
 - ダイナミック ルーティング
 - ISO CLNS 34-68
 - プロトコル 34-2
 - タイムゾーン 6-13
 - ダウンロード
 - イメージファイル
 - FTP の使用 B-27
 - HTTP の使用 B-21
 - RCP の使用 B-32
 - TFTP の使用 B-24
 - 準備 B-23, B-26, B-31
 - 古いイメージの削除 B-25
 - 目的 B-21
 - コンフィギュレーション ファイル
 - FTP の使用 B-14
 - RCP の使用 B-18
 - TFTP の使用 B-12
 - 準備 B-11, B-14, B-17
 - 目的 B-9
 - タグ付きパケット
 - IEEE 802.1Q 16-4
 - レイヤ 2 プロトコル 16-13
 - 単一方向リンク検出プロトコル
 - UDLD を参照
 - 端末回線、パスワードの設定 8-7
- ち**
- 注意、説明 xl
- つ**
- ツイストペア イーサネット、単一方向リンク検出 26-2
- て**
- ディスタンス ベクタ プロトコル 34-3
 - ディレクトリ
 - 作業ディレクトリの表示 B-4
 - 作成および削除 B-4
 - 変更 B-4
 - テーブル ドロップ
 - 設定 32-107
 - 説明 32-35

- デバイス ディスカバリ プロトコル 25-1
- デバッグ
 - エラー メッセージ出力のリダイレクト 41-18
 - コマンドの使用法 41-17
 - 全システム診断のイネーブル化 41-18
 - 特定機能に関するイネーブル化 41-17
- デフォルト ゲートウェイ 3-11, 34-12
- デフォルト ネットワーク 34-93
- デフォルト ルーティング 34-2
- デフォルト ルート 34-93
- デフォルト設定
 - BGP 34-48
 - CDP 25-2
 - CFM 36-5
 - DHCP 21-9
 - DHCP Option 82 21-9
 - DHCP スヌーピング 21-9
 - DHCP スヌーピング バインディング データベース 21-9
 - DNS 6-17
 - EIGRP 34-40
 - E-LMI および OAM 36-11
 - EoMPLS 37-18
 - EtherChannel 33-9
 - Flex Link 20-5
 - HSRP 35-4
 - IEEE 802.1Q トンネリング 16-5
 - IEEE 802.1x 9-12
 - IGMP 38-29
 - IGMP スヌーピング 23-7
 - IGMP スロットリング 23-25
 - IGMP フィルタリング 23-25
 - IP アドレス、IP ルーティング 34-5
 - IP ソース ガード 21-18
 - IP マルチキャスト ルーティング 38-9
 - IS-IS 34-69
 - MAC Address-Table Move Update 20-5
 - MAC アドレス テーブル 6-22
 - MPLS 37-8
 - MPLS QoS 37-23
 - MSDP 39-4
 - MSTP 18-15
 - multi-VRF CE 34-81
 - MVR 23-19
 - NTP 6-5
 - OSPF 34-28
 - RADIUS 8-21
 - RIP 34-21
 - RMON 28-3
 - RSPAN 27-11
 - SNMP 30-6
 - SPAN 27-11
 - SSL 8-45
 - STP 17-12
 - TACACS+ 8-14
 - UDLD 26-5
 - VLAN 12-9
 - VLAN マッピング 16-9
 - VLAN、レイヤ 2 イーサネット インターフェイス 12-22
 - VMPS 12-33
 - VTP 13-8
 - オプションのスパニングツリー機能 19-10
 - 音声 VLAN 15-4
 - 階層型 QoS 32-95
 - 起動 3-12
 - システム メッセージ ロギング 29-4
 - システム名およびプロンプト 6-16
 - 自動 QoS 32-37
 - 代替ブリッジング 40-4
 - ダイナミック ARP 検査 22-6
 - デフォルト スイッチ情報 3-3
 - パスワードおよび権限レベル 8-3
 - バナー 6-19
 - 標準 QoS 32-47
 - プライベート VLAN 14-7
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-17
 - レイヤ 2 インターフェイス 10-13
 - デュアルレベル ポリシー マップ
 - 設定 32-68
 - 説明 32-15
 - デュプレックスモード、設定 10-14
 - 転送遅延時間
 - MSTP 18-24
 - STP 17-21
 - 転送同等クラス 37-3
 - テンプレート、SDM 7-2
- と
 - 等価コスト ルーティング 34-91
 - 同期化、BGP 34-50

- 統計情報
 - CDP 25-5
 - IEEE 802.1x 9-25
 - IP マルチキャストルーティング 38-54
 - OSPF 34-37
 - QoS 入力および出力 32-94
 - RMON イーサネットグループ 28-5
 - RMON グループ履歴 28-4
 - SNMP 入出力 30-17
 - VTP 13-17
 - インターフェイス 10-24
- トークンリング VLAN
 - VTP のサポート 13-5
 - サポート 12-7
- ドメイン ネーム システム
 - DNS を参照
- ドメイン名
 - DNS 6-17
 - VTP 13-9
- ドメイン、ISO IGRP ルーティング 34-68
- トラストポイント、CA 8-43
- トラップ
 - MAC アドレス通知の設定 6-24
 - イネーブル化 6-24, 30-11
 - 概要 30-2, 30-5
 - 通知タイプ 30-11
 - 定義 30-4
 - マネージャの設定 30-11
- トラップドア メカニズム 3-2
- トラフィック
 - フラッドイングのブロック 24-8
 - 分割 31-5
 - 分割されていない 31-5
- トラフィック シェーピング
 - シェーピング、平均レートを参照
- トラフィックの優先処理
 - QoS を参照
- トラブルシューティング
 - CiscoWorks 30-4
 - debug コマンド 41-17
 - PIMv1 および PIMv2 のインターオペラビリティ問題 38-24
 - ping の使用 41-11
 - SFP のセキュリティと識別 41-10
 - show forward コマンド 41-19
 - traceroute 41-15
 - クラッシュ情報の表示 41-22
 - システム メッセージ ロギング 29-2
 - 接続問題 41-11, 41-13, 41-15
 - 単一方向リンクの検出 26-1
 - パケット転送の判別 41-19
- トランク
 - DTP をサポートしないデバイス 12-19
 - 概要 12-19
 - 許可 VLAN リスト 12-25
 - 設定 12-24, 12-29, 12-31
 - タグなしトラフィック用ネイティブ VLAN 12-27
 - パラレル 12-30
 - ブルーニング適格リスト 12-26
 - ロードシェアリング
 - STP パス コストの設定 12-30
 - STP ポート プライオリティの使用 12-28, 12-29
- トランク フェールオーバー
 - リンクステート トラッキングを参照
- トランク ポート
 - カプセル化 12-24, 12-29, 12-31
 - セキュア MAC アドレス 24-13
 - 設定 12-23
 - 定義 10-3, 12-4
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
- トランスペアレント モード、VTP 13-4, 13-13
- トンネリング
 - IEEE 802.1Q 16-2
 - 定義 16-1
 - レイヤ 2 プロトコル 16-13
- トンネル ポート
 - IEEE 802.1Q、設定 16-7
 - 説明 10-4, 16-2
 - 他の機能との非互換性 16-7
 - 定義 12-5
- な
 - 内部ネイバ、BGP 34-50
 - 夏時間 6-14
 - 名前指定の IP ACL 31-15

- に
- 二重タグ付きパケット
 - 802.1Q トンネリング 16-3
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-16
 - 認識不能の Type-Length-Value (TLV) のサポート 13-5
 - 認証
 - AAA でのローカル モード 8-38
 - EIGRP 34-44
 - HSRP 35-8
 - Kerberos 8-33
 - NTP アソシエーション 6-5
 - RADIUS
 - 鍵 8-22
 - ログイン 8-24
 - TACACS+
 - 鍵 8-14
 - 定義 8-12
 - ログイン 8-15
 - ポートベースの認証を参照
 - 認証鍵、ルーティング プロトコル 34-103
 - 認証不可 VLAN
 - 制限 VLAN を参照
- ね
- ネイティブ VLAN
 - 802.1Q トンネリング 16-5
 - 設定 12-27
 - デフォルト 12-27
 - ネイバ、BGP 34-61
 - ネットワーク管理
 - CDP 25-1
 - RMON 28-1
 - SNMP 30-1
 - ネットワーク構成、例 1-14
- の
- ノンストップ転送認識
 - NSF 認証を参照
- は
- バージョン依存型トランスペアレント モード 13-5
 - ハードウェア制限とレイヤ 3 インターフェイス 10-20
 - バイパス モード、レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-13, 16-17
 - バインディング
 - DHCP スヌーピング データベース 21-7
 - IP ソース ガード 21-17
 - アドレス、Cisco IOS DHCP サーバ 21-7
 - バインディング データベース
 - DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - アドレス、DHCP サーバ
 - DHCP、Cisco IOS サーバ データベースを参照
 - バインディング テーブル、DHCP スヌーピング
 - DHCP スヌーピング バインディング データベースを参照
 - パケットのブロック 24-8
 - パケットの変更、QoS による 32-51
 - パス コスト
 - MSTP 18-21
 - STP 17-18
 - パスワード
 - VTP ドメイン 13-10
 - 暗号化 8-4
 - 回復 41-4
 - 回復のディセーブル化 8-6
 - 概要 8-2
 - 設定
 - Telnet 8-7
 - イネーブル 8-4
 - イネーブル シークレット 8-4
 - ユーザ名 8-7
 - デフォルト設定 8-3
 - パスワードの暗号化 8-4
 - バックアップ インターフェイス
 - Flex Link を参照
 - バックアップ リンク 20-2
 - パッシブ インターフェイス
 - OSPF 34-35
 - 設定 34-101
 - バナー
 - 設定
 - Message-of-The-Day ログイン 6-19
 - ログイン 6-20
 - デフォルト設定 6-19
 - 表示の時期 6-19

- パフォーマンスの特長 1-2
- パラレルパス、ルーティングテーブル内
範囲 34-91
 - インターフェイス 10-9
 - マクロ 10-11
- ひ
- 非 IP トラフィックのフィルタリング 31-28
- ピア、BGP 34-61
- 非階層型ポリシーマップ 32-13
- 光ファイバ、単一方向リンク検出 26-2
- ヒストリ
 - コマンドの呼び出し方法 2-6
 - 説明 2-6
 - ディセーブル化 2-7
 - バッファサイズの変更 2-6
- 非対称リンクと 802.1Q トンネリング 16-5
- 非トランキングモード 12-20
- 表記法
 - コマンド xl
 - 書体 xl
 - マニュアル xl
 - 例 xl
- 表記法、マニュアル xl
- 標準範囲 VLAN
 - 設定モード 12-8
 - 定義 12-1
- ふ
- ファイル
 - tar
 - イメージファイル形式 B-22
 - 作成 B-6
 - 抽出 B-7
 - 内容の表示 B-7
 - クラッシュ情報
 - 説明 41-22
 - 内容の表示 41-22
 - 保存場所 41-22
 - コピー B-5
 - 削除 B-5
 - 内容の表示 B-8
- ファイルシステム
 - 使用可能なファイルシステムの表示 B-2
 - デフォルトの設定 B-3
 - ネットワークファイルシステム名 B-5
 - ファイル情報の表示 B-3
 - ローカルファイルシステム名 B-2
 - 不一致、自動ネゴシエーション 41-9
 - フィルタリング
 - show および more コマンドの出力 2-10
 - VLAN 内 31-31
 - 非 IP トラフィック 31-28
 - フィルタ、IP
 - ACL、IP を参照
 - ブートストラップルータ (BSR)、説明 38-6
 - ブートローダ
 - アクセス方法 3-14
 - 環境変数 3-14
 - 説明 3-2
 - トラップドアメカニズム 3-2
 - プロンプト 3-14
 - 輻輳回避メカニズム
 - WRED 32-34, 32-110, 32-114
 - WTD 32-19, 32-82, 32-87
 - 不正アクセスの防止 8-2
 - 物理ポート 10-3
 - プライオリティ
 - CoS の信頼 15-7
 - CoS の無効化 15-7
 - HSRP 35-6
 - プライベート VLAN
 - IP アドレス 14-4
 - SDM テンプレート 14-5
 - SVI 14-6
 - エンドステーションアクセス 14-3
 - 隔離 VLAN 14-2, 14-3
 - 隔離ポート 14-3
 - コミュニティ VLAN 14-2, 14-3
 - コミュニティポート 14-3
 - 混合ポート 14-3
 - サブドメイン 14-2
 - セカンダリ VLAN 14-2
 - 設定 14-11
 - 設定作業 14-7
 - 設定時の注意事項 14-8, 14-9
 - デフォルト設定 14-7
 - トラフィック 14-5
 - 複数のスイッチにまたがる 14-4
 - プライマリ VLAN 14-2, 14-3

- ポート
 - 隔離 14-3
 - コミュニティ 14-3
 - 混合 14-3
 - 混合ポートの設定 14-13
 - 設定時の注意事項 14-9
 - 説明 12-4
 - ホストポートの設定 14-12
 - マッピング 14-14
 - モニタ 14-16
 - 利点 14-2
 - プライベート VLAN エッジポート
 - 保護ポートを参照
 - プライマリ VLAN 14-2, 14-3
 - プライマリ リンク 20-2
 - フラッシュ デバイス、番号 B-2
 - フラッドイング トラフィック、ブロック 24-8
 - プリエンプト遅延、デフォルト設定 20-5
 - プリエンプト、デフォルト設定 20-5
 - ブリッジグループ
 - 代替ブリッジングを参照
 - ブリッジプロトコル データ ユニット
 - BPDU を参照
 - ブリッジド パケット、ACL 上 31-40
 - プルーニング適格リスト
 - VLAN 13-16
 - VTP プルーニング 13-5
 - 変更 12-26
 - プルーニング、VTP
 - イネーブル化 13-15
 - 概要 13-5
 - 設定例 13-6
 - ポート上でのイネーブル化 12-26
 - プレフィクス リスト、BGP 34-58
 - フロー制御 10-16
 - フローチャート
 - 2 つのレートを使用する QoS 階層型ポリシングおよびマーキング 32-31
 - QoS 階層型キューのキューイングおよびスケジューリング 32-33
 - QoS 出力キューセットのキューイングおよびスケジューリング 32-23
 - QoS 入力のキューイングおよびスケジューリング 32-20
 - QoS、入力分類 32-10
 - 単一レートの QoS 入力ポリシングおよびマーキング 32-15
 - ブロードキャスト ストーム 24-2, 34-14
 - ブロードキャスト パケット
 - 指定 34-14
 - フラッドイング 34-14
 - ブロードキャスト フラッドイング 34-17
 - プロキシ ARP
 - IP ルーティングがディセーブルの場合 34-11
 - 設定 34-11
 - 定義 34-9
 - プロトコル依存モジュール、EIGRP 34-40
 - プロバイダー エッジ デバイス
 - MPLS 37-9
 - MPLS ラベル 37-4
 - multi-VRF CE の使用 34-80
 - VPN 37-7
 - 分析用 トラフィックのミラーリング 27-2
- へ
- ヘルプ、コマンドライン 2-4
 - 編集機能
 - イネーブル化またはディセーブル化 2-8
 - 折り返し機能 2-10
 - 使用される キーストローク 2-8
- ほ
- ポート
 - Enhanced Services (ES) 10-3, 10-8
 - IEEE 802.1Q トンネル 12-5
 - VLAN 割り当て 12-13
 - アクセス 10-3
 - 識別 10-8
 - スイッチ 10-3
 - スタティック アクセス 12-4, 12-13
 - セキュア 24-9
 - 設定 10-8
 - ダイナミック アクセス 12-4
 - トランク 12-4, 12-19
 - 番号 10-8
 - ブロッキング 24-8
 - 保護 24-7
 - ルーテッド 10-4
 - ポート ACL
 - タイプ 31-4
 - 定義 31-2

- ポート シャットダウンの応答、VMPS 12-32
- ポート セキュリティ
 - QoS の信頼境界 32-56
 - 違反 24-10
 - エージング 24-15
 - 固定学習 24-10
 - 設定 24-12
 - 設定時の注意事項 24-11
 - 説明 24-9
 - デフォルト設定 24-11
 - トランク ポート 24-13
 - 表示 24-17
- ポート チャンネル
 - EtherChannel を参照
- ポート プライオリティ
 - MSTP 18-20
 - STP 17-17
- ポート ブロッキング 24-8
- ポート メンバーシップ モード、VLAN 12-3
- ポート信頼状態
 - IP Phone のポート セキュリティの確保 32-56
 - QoS ドメイン間 32-58
 - QoS ドメイン内 32-52
 - 分類オプション 32-8
- ポートベースの認証
 - EAP 応答 / アイデンティティ フレーム 9-3
 - EAP 要求 / アイデンティティ フレーム 9-3
 - EAPOL 開始フレーム 9-3
 - VLAN 割り当て
 - AAA 許可 9-14
 - 設定作業 9-8
 - 説明 9-8
 - 特性 9-8
 - アカウントイング 9-5
 - 設定 9-24
 - 以前のリリースからのアップグレード 32-42
 - 音声 VLAN
 - PVID 9-7
 - VVID 9-7
 - 説明 9-7
 - 開始とメッセージ交換 9-3
 - カプセル化 9-3
 - クライアント、定義 9-2
 - ゲスト VLAN
 - 設定時の注意事項 9-9, 9-10
 - 説明 9-9
- スイッチ
 - RADIUS クライアント 9-3
 - プロキシ 9-3
- 設定
 - IEEE 802.1x 認証 9-14
 - RADIUS サーバ 9-16
 - ゲスト VLAN 9-21
 - 手動によるクライアントの再認証 9-17
 - スイッチ上の RADIUS サーバ パラメータ 9-15
 - スイッチとクライアント間の再送信時間 9-18
 - スイッチとクライアント間のフレーム再送信回数 9-19
 - 制限 VLAN 9-22
 - 待機時間 9-17
 - 定期的再認証 9-17
 - ホスト モード 9-20
 - 設定時の注意事項 9-13
 - 説明 9-2
 - デバイスの役割 9-2
 - デフォルト設定 9-12
 - デフォルト値へのリセット 9-23
 - 統計情報の表示 9-25
 - 統計情報、表示 9-25
 - トポロジー、サポート対象 9-5
 - 認証サーバ
 - RADIUS サーバ 9-3
 - 定義 9-3
 - 複数ホスト モード、説明 9-20
 - 方式リスト 9-14
 - ポート
 - 音声 VLAN 9-7
 - 許可および無許可 9-4
 - 許可ステートと dot1x port-control コマンド 9-4
 - ポート セキュリティ
 - 音声 VLAN 9-7
 - 説明 9-6
 - 相互作用 9-6
 - 複数ホスト モード 9-20
 - ユーザ単位の ACL
 - AAA 許可 9-14
 - RADIUS サーバアトリビュート 9-11
 - 設定作業 9-11
 - 説明 9-11
- 保護ポート 24-7

- ホスト ポート
 - 種類 14-3
 - 設定 14-12
 - ホスト、ダイナミックポートの上限 12-37
 - ポリサー
 - 階層型、2つのレート 32-30
 - サポート数 32-50, 32-96
 - 集約ポリサーの設定の表示 32-94
 - 設定
 - 一致した各トラフィック クラス 32-65
 - 階層型、2つのレート 32-100
 - 複数のトラフィック クラス 32-75
 - タイプ 32-13
 - 入力タイプ 32-13
 - 入力、単一レート 32-14
 - ポリシー マップ
 - SVIでの階層 32-12
 - デュアルレベル 32-12
 - 非階層型単一レベル 32-12
 - ポリシング
 - SVIでの階層型デュアルレベル
 - デュアルレベル ポリシー マップを参照
 - 階層型、説明 32-30
 - トークンバケットアルゴリズム 32-14, 32-31
 - 入力、説明 32-12
- ま**
- マーキング
 - アクション
 - 階層型ポリシー マップ 32-101, 32-104
 - 入力ポリシー マップ 32-65, 32-75
 - 説明
 - 階層型 32-7, 32-30
 - 入力 32-6, 32-14
 - マクロ
 - Smartport マクロを参照
 - マニュアル
 - 対象読者 xxxix
 - 目的 xxxix
 - マルチキャスト グループ
 - 加入 23-3
 - スタティックな加入 23-10
 - 即時脱退 23-6
 - 脱退 23-5
 - マルチキャスト ストーム 24-2
 - マルチキャスト パケット
 - ACL 上 31-41
 - ブロッキング 24-8
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス、情報表示 23-14
 - マルチキャスト ルータ ポート、追加 23-9
 - マルチプロトコル ラベル スイッチング
 - MPLS を参照
- め**
- メッセージ
 - ACL 違反のログ 31-16
 - バナーを使用してユーザに送信 6-19
 - メトリック変換、ルーティングプロトコル間 34-97
 - メトリック、BGP 内 34-55
 - メトロ タグ 16-3
 - メンテナンス エンド ポイント
 - MEP を参照 (MEP)
 - メンテナンス 中間ポイント
 - MIP を参照
 - メンバー スイッチ
 - 管理 4-4
 - 候補スイッチ、クラスタ スタンバイ グループ、スタンバイ コマンド スイッチも参照
 - 定義 4-2
 - 要件 4-3
 - メンバーシップ モード、VLAN ポート 12-4
- も**
- モジュール番号 10-8
 - モニタ
 - 802.1Q トンネリング 16-25
 - ACL の設定 31-42
 - BGP 34-66
 - CDP 25-5
 - CEF 34-91
 - EIGRP 34-45
 - E-LMI 36-15
 - EoMPLS 37-26
 - Flex Link 20-10
 - HSRP 35-10
 - IGMP
 - スヌーピング 23-14
 - フィルタ 23-29

- IP
 - アドレス テーブル 34-18
 - マルチキャスト ルーティング 38-54
 - ルート 34-104
 - IS-IS 34-77
 - ISO CLNS 34-77
 - MAC Address-Table Move Update 20-10
 - MPLS 37-26
 - MSDP ピア 39-18
 - multi-VRF CE 34-89
 - MVR 23-23
 - OAM マネージャ 36-15
 - OSPF 34-37
 - RP マッピング情報 38-24
 - SA メッセージ 39-18
 - SFP
 - ステータス 10-24, 41-10
 - SFP ステータス 1-10
 - VLAN 12-18
 - フィルタ 31-42
 - マップ 31-42
 - VMPS 12-36
 - VTP 13-17
 - アクセス グループ 31-42
 - イーサネット CFM 36-9
 - インターフェイス 10-24
 - 機能 1-10
 - スイッチ間のトラフィック フロー 28-2
 - 速度およびデプレックス モード 10-16
 - 代替ブリッジング 40-11
 - 単一方向リンクのケーブル 26-2
 - トラフィック抑制 24-17
 - トンネリング 16-25
 - プライベート VLAN 14-16
 - プローブによる分析用ネットワーク トラフィック 27-3
 - ポート
 - ブロッキング 24-17
 - 保護 24-17
 - マルチキャスト ルータ インターフェイス 23-14
 - レイヤ 2 プロトコル トンネリング 16-25
- ゆ
- 有効期間、短縮 17-9
 - ユーザ EXEC モード 2-2
 - ユーザ名ベースの認証 8-7
 - ユニキャスト MAC アドレス フィルタリング 1-4
 - CPU パケット 6-27
 - スタティック アドレスの追加 6-27
 - 設定時の注意事項 6-26
 - 説明 6-26
 - ブロードキャスト MAC アドレス 6-26
 - マルチキャスト アドレス 6-26
 - ルータ MAC アドレス 6-26
 - ユニキャスト ストーム 24-2
 - ユニキャスト トラフィック、ブロック 24-8
- ら
- ライン コンフィギュレーション モード 2-3
 - ラベル スイッチング ルータ
 - LSR を参照
 - ラベル バインディング 37-3
 - ラベル、MPLS 37-3
- り
- リセット、BGP 内 34-53
 - リモート SPAN
 - RSPAN を参照
 - 履歴テーブル、Syslog メッセージのレベルと数 29-10
 - リンク障害
 - 単一方向の検出 18-8
 - リンク冗長性
 - Flex Link を参照
 - リンクステート トラッキング
 - 設定 33-24
 - 説明 33-22
 - リンクステート プロトコル 34-3
 - リンク、単一方向 26-2
 - 隣接テーブル、CEF 34-90
- る
- ルータ ACL
 - タイプ 31-3
 - 定義 31-2
 - ルータ ID、OSPF 34-37
 - ルーティング
 - 情報の再配信 34-94

スタティック 34-2
 ダイナミック 34-2
 デフォルト 34-2
 ルーティング ドメイン連合、BGP 34-63
 ルーティング プロトコルの管理距離 34-92
 ルーティングできないプロトコルに属するトラフィックの転送 40-1
 ルーテッド パケット、ACL 上 31-40
 ルーテッド ポート
 IP アドレス 10-20, 34-4
 設定 34-4
 定義 10-4
 ルート ガード
 イネーブル化 19-15
 説明 19-8
 ルート サマライズ、OSPF 34-35
 ルート スイッチ
 MSTP 18-18
 STP 17-15
 ルート ターゲット、VPN 34-81
 ルート ダンピング化、BGP 34-65
 ルート マップ
 BGP 34-56
 PBR 34-98
 ルート リフレクタ、BGP 34-64
 ルート 計算タイマー、OSPF 34-35
 ルート 選択、BGP 34-54
 ループ ガード
 イネーブル化 19-16
 説明 19-9

れ

レイヤ 2 traceroute
 ARP 41-14
 CDP 41-13
 IP アドレスおよびサブネット 41-14
 MAC アドレスおよび VLAN 41-13
 使用上の注意事項 41-13
 説明 41-13
 ポートに複数のデバイス 41-14
 マルチキャスト トラフィック 41-13
 ユニキャスト トラフィック 41-13
 レイヤ 2 インターフェイス、デフォルト設定 10-13
 レイヤ 2 トランク 12-19
 レイヤ 2 フレーム、CoS による分類 32-3

レイヤ 2 プロトコル トンネリング
 EtherChannel の設定 16-20
 設定 16-16
 注意事項 16-17
 定義 16-13
 デフォルト設定 16-17
 バイパス モード 16-13, 16-17
 レイヤ 2 プロトコル パケットのシャットダウン スレッシ
 シュホールド 16-17
 レイヤ 2 プロトコル パケットの廃棄スレッシホールド 16-17
 レイヤ 3 インターフェイス
 IP アドレスの割り当て 34-6
 タイプ 34-4
 レイヤ 2 モードからの変更 34-6
 レイヤ 3 機能 1-9
 レイヤ 3 パケット、分類方法 32-3
 レポートの抑制、IGMP
 説明 23-6
 ディセーブル化 23-13

ろ

ログ メッセージ
 システム メッセージ ロギングを参照
 ログ メッセージのシーケンス番号 29-8
 ログ メッセージのタイムスタンプ 29-8
 ログ メッセージ、ACL 31-10
 ログイン バナー 6-19
 ログイン 認証
 RADIUS による 8-24
 TACACS+ による 8-15